

五島市まち・ひと・しごと創生
人口ビジョン・総合戦略
(アクションプラン)
進捗・達成状況



令和4年10月
五島市 総務企画部 政策企画課

— 目 次 —

基本目標Ⅰ

五島の恵みを活かし、雇用を生み出す“しま”をつくる

・・・P 1～P 14

基本目標Ⅱ

五島の魅力を発信し、世界に誇れる“しま”をつくる

・・・P 15～P 24

基本目標Ⅲ

安全・安心で住みやすさ日本一の“しま”をつくる

・・・P 25～P 34

基本目標Ⅳ

五島の宝・子どもが育ち、輝く“しま”をつくる

・・・P 35～P 43

基本目標	I	五島の恵みを活かし、雇用を生み出す“しま”をつくる	所属課	商工雇用政策課、農林課、水産課、文化観光課(～R3 観光物産課)
------	---	---------------------------	-----	----------------------------------

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績					実績の積算根拠	評価	
	年度	R2	R3	R4	R5			R6
国境離島法による雇用創出数(累計)	目標値(人)	368	451	534	617	700	H29年度～R3年度の各年度末時点の雇用創出数	A
	実績(人)	462	513					
Nぴか企業数(累計)	目標値(事業所)	1	2	3	4	5	株式会社今村組 ごと株式会社 株式会社アライ	A
	実績(事業所)	2	3					
求人数に対する正社員の求人割合	目標値(%)	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	ハローワーク調べ (令和4年3月)	A
	実績(%)	36.0	37.1					
農林水産、物産・ブランド及び企業誘致・地場産業の施策に対する市民満足度	目標値(%)	20.0	24.0	27.0	31.0	35.0	市民アンケート	B
	実績(%)	24.6	23.6					

2. 総評

<p>【国境離島法による雇用創出数】 目標値を上回っているものの、R3年度の雇用創出実績は51名と、例年と比べて少ない実績となっている。雇用機会拡充事業における事業の採択数及び雇用創出数は県内全体としても減少傾向にある。当市では事業開始当初と比べ、事業実施者1者あたりの雇用創出人数が減少していることも、雇用実績が減少している要因の一つと考えられる。</p> <p>【Nぴか企業数】 目標は達成できたものの、認定を受けるための基準が高いこともあり、認定を受ける企業数が伸びない。</p> <p>【求人数に対する正社員の求人割合】 誘致企業が積極的な正社員雇用に取り組んでもらっていることや、雇用機会拡充支援事業での雇用増により、目標を達成することができた。</p> <p>【農林水産、物産・ブランド及び企業誘致・地場産業の施策に対する市民満足度】 市民アンケートの結果、わずかに目標値を下回った。</p>
--

3. 今後の取組方針

<p>【国境離島法による雇用創出数】 採択事業数に加え1事業者あたりの雇用創出数が減少傾向にあるが、各事業の雇用数が少ない要因の一つとして、市内の人手不足が挙げられる。雇用創出推進のためには、雇用機会拡充の支援と、人材確保に対する支援を両輪として実施していく必要がある。</p> <p>【Nぴか企業数】 企業への制度周知を行い、認定企業数を増加させる。 併せて、ながさき県内就職応援サイト「Nなび」への登録も薦める。</p> <p>【求人数に対する正社員の求人割合】 誘致企業への働きかけや、雇用機会拡充支援事業の活用、地場企業への働きかけにより正社員割合の増を目指す。</p> <p>【農林水産、物産・ブランド及び企業誘致・地場産業の施策に対する市民満足度】 満足度が向上するように各種施策に取り組んでいく。</p>

戦略プロジェクト	I-1	農林業振興プロジェクト	所属課	農林課
重点事業	I-1-1	経営基盤の強化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
新規就農者数	目標値(人)	10	10	10	10	10	振興局資料	A
	実績(人)	15	19					
認定農業者数	目標値(人)	261	261	261	261	261	農業経営改善計画認定審査会	B
	実績(人)	258	245					
中山間協定農用地面積	目標値(ha)	1,388	1,401	1,415	1,429	1,443	中山間交付金事業実績報告	B
	実績(ha)	1,374	1,392					
繁殖雌牛飼養頭数	目標値(頭)	4,880	4,960	5,040	5,120	5,200	農協繁殖雌牛増頭運動推進月別実績表(五島市分)	A
	実績(頭)	4,976	5,121					
子牛生産頭数	目標値(頭)	3,950	4,040	4,040	4,120	4,210	登録協会総会資料(五島地区合算)	B
	実績(頭)	3,765	3,878					
地元産木材地元消費量	目標値(m³)	1,550	1,600	1,650	1,700	1,800	五島森林組合への照会	B
	実績(m³)	1,207	1,576					
地元産木材製材品の島外出荷量	目標値(m³)	489	561	582	600	600	五島森林組合への照会	C
	実績(m³)	329	331					
担い手への農地集積率	目標値(%)	38.0	40.0	42.0	44.0	46.0	担い手の農地利用集積状況調査	B
	実績(%)	37.7	36.9					
耕作放棄地面積	目標値(ha)	457.0	448.0	438.0	429.0	420.0	農地利用状況調査	B
	実績(ha)	397.1	485.8					
輸送コスト支援事業の出荷量	目標値(t)	6,444	6,571	6,697	6,823	6,950	戦略産品海上輸送費支援事業実績報告	C
	実績(t)	6,082	5,667					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	五島地域元気ある担い手アクション支援事業	認定農業者等の経営改善計画の達成や法人化計画に対する支援をする。	認定農業者の計画的な所得向上を図る。	R2実績 182
				R3実績 122
				R4実績
2	畜産クラスター構築事業(牛)	本市基幹産業の核である繁殖牛経営における生産性・収益性の向上を図るため、新規参入又は規模拡大を行う繁殖牛農家に対し、牛舎等の整備、繁殖雌牛の購入に係る経費の補助を行う事業。	繁殖牛農家の新規参入、規模拡大を支援することで、高齢化や後継者不足による繁殖牛農家の減少、繁殖雌牛頭数の減少傾向改善をねらう。	R2実績 170,270
				R3実績 96,451
				R4実績
3	五島市家畜農協等有導入事業	畜産経営の安定を図るため、繁殖牛を購入し、繁殖牛の維持、増頭を図る繁殖牛農家へ貸し付ける農協等に対し、購入費の補助を行う事業。	繁殖牛農家の繁殖牛頭数維持による経営の安定、又は増頭による規模拡大をねらうもの。	R2実績 14,754
				R3実績 15,100
				R4実績
4	五島市家畜特別導入型事業	市が繁殖牛を購入し、高齢者を優先として繁殖牛農家に一定期間無償貸与後、譲渡する事業。	繁殖牛農家の経営安定をねらうもの。また、高齢の繁殖牛農家を優先することで、高齢者福祉の向上もねらうもの。	R2実績 22,302
				R3実績 22,363
				R4実績
5	五島市優良雌牛導入事業	優良な繁殖雌牛の増頭及び子牛価格の上昇のため、繁殖雌牛を購入し、繁殖牛農家へ貸付事業を行うこと農協に対し、購入費の補助を行う事業。	農家の負担が大きい、優良な繁殖雌牛の購入費を補助することで、市内の優良な子牛増頭に繋げ、子牛購買者の誘致、子牛価格の向上、ひいては市内繁殖牛農家の所得向上をねらうもの。	R2実績 13,566
				R3実績 9,550
				R4実績

6	戦略産品海上輸送費支援事業(H29～)輸送コスト支援事業	下記品目の海上輸送費を助成。 ・移出:野菜類(10品目)、いも類(2品目)、鳥獣肉 ・移入:その他の化学肥料、配合飼料 ・助成額:海上輸送費×8/10 ・農水産品の移出及び生産、移出に必要な原材料の移入	五島市が選定した農産品の移出及び移出に係る肥料及び配合飼料の移入についての海上輸送費の助成を行うことで、販路拡大や出荷量の増加に繋げ、農業者の所得の向上を図る。	R2実績 117,039 R3実績 154,969 R4実績
7	輸送コスト支援事業(R元年度～)林務関係	製材品の島外出荷(移出)にかかる海上輸送費の一部について助成。	市選定の戦略産品(5品目)の移出及び移入に係る海上輸送費の一部助成により本土との格差是正及び、販路拡大や出荷量増加に繋げ産業の活性化を図る。	R2実績 1,777 R3実績 1,460 R4実績

3. 総評

- ① 新規就農者数、認定農業者数、担い手への農地集積率について、新規就農者数は目標を達成しているが、認定農業者数及び、担い手への農地集積率については高齢化や後継者不足に伴い担い手が減少しているため、目標に達していない。
- ② 繁殖雌牛頭数については、事業効果もあり順調な増頭が進んでいるものの、子牛生産頭数については、農家ごとの飼養管理技術等にバラつきがあるため、目標に達していない。
- ③ 輸送コスト支援事業について、R3年度は秋冬野菜が低温、きゅうりなどが長雨による天候の影響を受けたことや、作付面積の減少により出荷減少となっているが、事業費については、輸送費の値上げ等により増加している。
- ④ 地元産木材の地元消費量及び製材品の島外出荷については、市内唯一の林業経営体である五島森林組合において森林整備による間伐材を利用したものであるが、令和3年度においては、間伐箇所での立木の生育不良などがあり製材品向けのAB材(良質材)の数量確保が困難となったことから目標に届かなかった。

4. 今後の取組方針

- ① 新規就農者数、認定農業者数、担い手への農地集積率について、国境離島法など国や県の補助制度を活用しながら、担い手の確保及び農地集積率の向上に取り組む。
- ② 補助事業等による繁殖雌牛増頭支援を図りながら、子牛平均価格や配合飼料の高騰対策など国、県の施策等にも注視し、市内畜産農家の所得向上に取り組む。
- ③ 輸送コスト支援事業について、今後も販路拡大や出荷量の増加につながるよう引き続き支援を行う。
- ④ 地元産木材の地元消費量及び製材品の島外出荷については、市の補助事業で新たに導入した造林機械等を十分に活用しながらAB材(良質材)の数量確保が可能な間伐箇所を選定し、目標達成に取り組む。

戦略プロジェクト	I-1	農林業振興プロジェクト	所属課	農林課
重点事業	I-1-2	生産基盤の維持・整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
水田区画整備面積	目標値(ha)	1,077	1,092	1,106	1,121	1,136	R3年度までの基盤整備事業実績(県の集計)	A
	実績(ha)	1,085	1,108					
畑地帯区画整備面積	目標値(ha)	398	405	411	418	425	R3年度までの基盤整備事業実績(県の集計)	B
	実績(ha)	393	393					
林道整備延長	目標値(km)	132	137	142	147	151	市町村別林道延長及び舗装延長内訳表	B
	実績(km)	130	131					
有害鳥獣による農産物被害額	目標値(千円)	8,112	7,947	7,781	7,616	7,450	農協、共済組合、農家への聞き取り調査	A
	実績(千円)	11,171	5,973					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	県営経営体育成基盤整備事業	圃場の区画整備 久賀地区20ha、寺脇地区57ha	小区画の水田を大区画整備による用水の安定確保、水田汎用化、大型機械の導入等による農業経営の規模拡大を図る。	R2実績 51,822
				R3実績 59,738
				R4実績
2	県営畑地帯総合整備事業	圃場の区画整備 鍛瀬地区31ha、富江・日の出地区28ha	区画整理、農業用排水施設等の基盤整備により畑作農業経営の体質強化及び経営安定等を図る。	R2実績 5,957
				R3実績 2,174
				R4実績
3	林業専用道川原線開設事業	W=3.6m L=562.4m	森林所有者による森林整備を促し林業の活性化を図る。	R2実績 14,805
				R3実績 35,008
				R4実績
4	林業専用道内閣線開設事業	①W=3.5m L=179m R3繰越	森林所有者による森林整備を促し林業の活性化を図る。	R2実績 23,881
		②W=3.6m L=233m		R3実績 36,122
		R4実績		
5	農産物等有害鳥獣対策事業	有害鳥獣(イノシシ・シカ等)の捕獲及び防護対策を行う。 (福江島・奈留島・久賀島)	専門業者、猟友会、地域捕獲隊、実施隊員等により市内に生息しているイノシシ・シカ等の捕獲を行い、生息域の拡大及び農林産物への被害を防止する。また、拡散防止柵の設置やICT技術を活用した防護対策により被害を未然に防ぐ。	R2実績 72,253
				R3実績 68,864
				R4実績

3. 総評

<p>① 畑地帯総合整備事業について、令和3年度は測量設計や換地業務を実施しており、面的工事の面積実績は上がってこない(令和5年度から工事着手予定)。</p> <p>② 林道整備の川原線について、国の林道改良工事の遅れによりR4年度に繰越したため目標値に達していない。</p> <p>③ イノシシ、シカ等の有害鳥獣について、有害鳥獣被害が市街地、農用地へ拡大しないよう、拡散防止柵や侵入防止柵の整備、捕獲報奨金制度、捕獲隊設置による捕獲強化の実施を行い、農作物被害額は5,973千円(前年度比5,198千円減)となっており前年度より減少した。 有害鳥獣捕獲実績数では、シカが1,618頭(前年度比34頭増)、イノシシが887頭(前年度比176頭減)、タイワンリスが2,655頭(前年度比50頭減)となっており、捕獲報奨金制度等による捕獲活動においては被害抑制に貢献している。</p>

4. 今後の取組方針

<p>① 圃場区画整備について、経営規模の拡大や生産性の向上を図るため、意欲ある地域を中心に生産基盤整備を行い優良農地の確保と農地の集団化・流動化を促進する。本事業に取り組むためには、地元地域の熟成した合意形成と事業への協力体制が不可欠であることから、将来営農の展望や事業制度の理解を深める意見交換を行っていく。</p> <p>② 林道整備について、引き続き2路線(川原線・内閣線)の開設工事を実施する。また、地元要望がある岩谷線(新規)もしくは既に国からの事業計画承認済みのザレガシ線のどちらかについて、事業着手に向けた調整を行う。</p> <p>③ 有害鳥獣について、捕獲数の増や侵入防止柵設置の推進により、捕獲者や捕獲隊が活動している地域や侵入防止柵の整備済箇所においては被害が低減しているが、イノシシ、シカの生息域の変化や拡大により、捕獲者がいない地域や侵入防止柵の未整備箇所において新たな農作物被害が増加傾向にある。 今後も引き続き、有害鳥獣捕獲者の免許取得推進や捕獲活動の助成、侵入防止柵設置推進等により被害軽減を図る。 また、ICT技術等の活用により被害・捕獲・出没情報等のデータを一元化した視覚的な対策や集落との連携による地域ぐるみの対策も推進していく。</p>

戦略プロジェクト	I-1	農林業振興プロジェクト	所属課	農林課
重点事業	I-1-3	地域資源の活用		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
椿油取引業者数	目標値(社)	38	40	42	44	47	市内搾油所への聞き取り	A
	実績(社)	40	42					
椿関連商品の売上額	目標値(千円)	54,509	58,259	62,009	65,759	69,509	市内販売事業者への聞き取り	A
	実績(千円)	41,349	121,051					
学校給食における地場産物(野菜)利用量割合	目標値(%)	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	教育委員会事務局調査資料	B
	実績(%)	36.0	38.1					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	椿植栽推進事業	椿油の安定生産を図るため、耕作放棄地等に椿を植栽するための苗木の支給と経費の補助をする。	地域資源である椿を植栽し、管理・収穫のしやすい椿を増やし椿油の安定生産を図る。	R2実績 2,222
				R3実績 1,592
				R4実績
2				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

【椿油取引業者数】

①取引業者数としては、R3年度において目標値の105%の達成となった。
 ②椿油の生産量としては、例年より増加している。コロナの影響もあり取引業者数は現状維持の搾油業者が多かったが、営業により新たな取引先を獲得している搾油業者もあった。
 各搾油業者の椿油在庫数量によるが、コロナが落ち着き、関連商品の消費が増えれば、搾油量、取引事業者数も増加し、毎年度の数値目標の達成につながると考えている。

【椿関連商品の売上額】

①売上額としては、R3年度において目標値の208%の大幅達成となった。
 ②椿関連商品の売上額については、新規販売事業者により大幅増加となった。
 その他の約半数の事業者については、コロナによる観光客減少の影響が大きいと考えられ、売上額が減少した。コロナ後の観光客が戻れば売り上げの増加を期待できると考えている。

【学校給食における地場産物(野菜)利用量割合】

地場産野菜の利用は、市内での長期保管ができないことや長雨や台風など気象条件にも左右されるため通年での安定供給が難しい。また、予算も限られ安価な市外のものを利用することなどから目標達成に至っていない。

4. 今後の取組方針

【椿油取引業者数】

地域資源である椿について、今後は自生椿林整備事業、椿植栽事業等で整備した椿林の管理指導に取り組みとともに、高齢等の理由により管理が困難になった椿林を代理収穫につなげ、椿油の安定生産を図り、取引業者数の増加を目指す。

【椿関連商品の売上額】

椿油の安定供給や商談展示会の出展などによる取引業者の拡大に努めるとともに、今後は、政策企画課、文化観光課等の協力を得ながら、椿関連商品の情報発信を行い、売上額増を目指す。

【学校給食における地場産物(野菜)利用量割合】

地元野菜の利用量の向上は容易ではないが、引き続き利用量の向上を目指した取組を働きかけていく。

戦略プロジェクト	I-2	水産業振興プロジェクト	所属課	水産課
重点事業	I-2-1	経営基盤の強化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
新規就漁者数 (独立型)	目標値(人)	4	4	4	4	4	研修修了生	A
	実績(人)	4	7					
中核的漁業者の 所得向上率	目標値(%以上)	-	-	-	-	10		
	実績(%以上)							
マグロ出荷量	目標値(t)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	長崎県水産加工 流通課調査	A
	実績(t)	1,606	2,652					
輸送コスト支援事 業の出荷量	目標値(t)	5,424	5,532	5,643	5,756	5,872	事業実績数値	A
	実績(t)	7,587	8,282					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業 番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	新規漁業就業者育成確保事業(独立型)	新規就業者のための受け皿体制づくりや、指導者による漁業研修期間(最長2年間)の研修生に対する生活支援、再研修への支援を行う。	漁家子弟やUターン者に漁業技術を習得させ、地域に根付くことで、漁業後継者の増加と漁村の活性化を図る。	R2実績 24,244
				R3実績 25,538
				R4実績
2	離島漁業再生支援交付金事業(漁船取得リース事業)	新規就業者が研修終了後に漁業に就業する際に使用する漁船について、漁協がリース漁船を購入する場合に支援する。	新規漁業就業者の初期投資経費を抑え、円滑な漁業への定着を図るとともに、地域において漁業後継者育成を図る。	R2実績 167,884
				R3実績 20,257
				R4実績
3	産官学連携交流事業	長崎大学水産学部に観知と五島の豊かなフィールドを連携させることにより、五島市水産業の新たな成長に繋げる。	五島市における水産養殖、水産加工の研究等に取り組み、五島の水産振興に資する人材の育成・確保を図る。	R2実績 0
				R3実績 0
				R4実績
4	新規漁業就業者漁業経費支援事業	独立して漁業を開始した者の円滑な漁業定着と漁業経営の安定化を目的として、漁業経営に必要な経費を支援する。	独立後間もない新規漁業就業者について、燃油や漁業経費の支援を行うことで出漁意欲の向上を図る。	R2実績 13,747
				R3実績 6,300
				R4実績
5	戦略産品海上輸送費支援事業費補助金(H29～)輸送コスト支援事業	漁獲物の主な出荷先が関西などの都市圏となり、海上輸送コストが発生し、販売拡大に支障を来しており、離島活性化交付金や国境離島新法を活用し海上輸送コスト軽減の支援を行う。	五島市の地域資源を活用した水産物(生鮮、冷凍もの)の移出及び移入にかかる海上輸送費等を支援することにより、農林水産物の競争力の強化及び販路拡大につなげる。	R2実績 276,657
				R3実績 254,941
				R4実績
6	五島市マグロ養殖産地育成事業	五島産養殖マグロの島内流通の活性化を図るため、「マグロフェア」を開催し、五島産養殖マグロのPRを行うとともに、市民や観光客への消費拡大を図る。	五島産養殖マグロの島内流通の活性化を図るため、島内消費拡大を目的とした「マグロフェア」を開催し、五島産養殖マグロのPRを行うとともに、市民や観光客への消費を促し、五島産養殖マグロのブランド構築と販売促進を図る。	R2実績 -
				R3実績 526
				R4実績

3. 総評

<p>◆漁業者の高齢化と減少が進む中、独立型漁業においては研修制度の内容も年々改善されており、独立する漁業者は各地に定着している。令和3年度においては独立型漁業を目指す13名の研修生を受け入れた。</p> <p>◆平成29年度から新たな取り組みとして「新規漁業就業者漁業経費支援事業」を創設し、独立型漁業に果敢に取り組む新規漁業就業者に対し支援を行うことで、離職防止や経営安定化を図り、漁業就労への意欲を高めた。</p> <p>◆戦略産品(魚介類(生鮮、冷凍もの))の島外出荷量の拡大を図るため、離島活性化交付金を活用し海上輸送コスト軽減の支援を行うことにより、農林水産物の競争力の強化及び販路拡大につなげるとともに、漁業者の所得向上への一助となっていたが、平成29年度より特定有人国境離島地域社会維持推進交付金に切り替えられたことにより、支援が手厚く(補助率が2/3⇒5/4)に拡充、個人事業者の取扱も可。)なったことから、更に多くの魚介類が島外出荷された。</p>
--

4. 今後の取組方針

<p>◆IUターン者・漁家師弟に対する新規漁業就業者育成確保事業(独立型)や離島漁業再生支援交付金事業における漁船取得リース事業、漁村支援交付金は、これまで新規漁業就業者の漁業定着に大きな役割を果たしており効果的な事業である。</p> <p>また、上記事業に「新規漁業就業者漁業経費支援事業」を組み合わせることで、漁業就業を希望する若者の確保に積極的に取り組み、地域漁業の担い手を一人でも多く確保することで地域活性化を図る。</p> <p>◆戦略産品についての移出及び漁業資材等の移入については引き続き支援を行っていく。平成30年度から支援額の上限(20,000千円)が設けられ、事業費が抑制されている。雇用条件の改良や拡充などにより上限額への上乗せも可能であることから、各事業所に対して積極的な取り組みを進めていく。</p> <p>◆更なるマグロ養殖基地化を目指すため、養殖マグロの島内流通を活性化させることで、市民への五島産マグロの周知と養殖マグロの発展を目指す。</p>
--

戦略プロジェクト	I-2	水産業振興プロジェクト	所属課	水産課
重点事業	I-2-2	生産基盤の整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
漁港整備改良箇所数	目標値(箇所/年)	0	0.5	0.5	0	1	事業実施漁港数	A
	実績(箇所/年)	2	1					
藻場の回復面積(累計)	目標値(ha)	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	事業実績集計	A
	実績(ha)	2.4	13.8					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	農山漁村地域整備交付金事業(漁村再生事業、海岸保全事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・久賀島漁港(蘇地区)の用地舗装 A=6,132㎡(R2完了) ・大浜漁港(大浜地区)の突堤(新設)工事 1式(R2着手・R4まで継続予定) ・増田漁港海岸の護岸(改良)工事 1式(R3着手・R5まで継続予定) 	<p>【久賀島漁港】 用地舗装により効果的な作業を可能にすることで、水産物の生産性の向上を図る。</p> <p>【大浜漁港】 防風フェンス付きの突堤の整備を行い、強風の影響が減ることで、漁港利用者の安全性が向上するとともに、漁船等の被害が減少することにより、安全で快適な就業環境の創出及び水産物の生産性の向上を図る。</p> <p>【増田漁港海岸】 越波防止を目的とした護岸の改良(護岸前面に消波ブロック設置)を行うことにより、背後集落の生命財産を守るとともに、緊急時の道路交通環境の安全性向上を図る。</p>	R2実績 104,800
				R3実績 91,457
				R4実績
2	五島市藻場回復等総合対策事業	民間事業者等が持つ新しい藻場回復技術を公募のうえ実践し、その効果を総合的に検証する。	市内各地域の実態に適応した藻場回復手法を普及し、藻場の維持・回復を図る。	R2実績 11,999
				R3実績 13,999
				R4実績
3	離島漁業再生支援交付金事業(磯焼け対策、イカ産卵床設置等)	市が策定する漁業集落活動促進計画の内容に基づき、集落協定を締結した漁業集落に対し集落活動を支援する。	集落構成員が漁場の生産力向上や創意工夫を活かした取組を実施することで、漁業活動が継続展開され、漁村が活性化される。	R2実績 145,351
				R3実績 149,596
				R4実績
4	五島市藻場を活用したカーボンニュートラル促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・五島市の藻場状況について研究を行い、CO₂削減を促進する上での課題抽出、調査研究活動を実施。 ・企業努力で削減できないCO₂排出量を藻場再生活動への出資により相殺するクレジット認証制度についての調査研究を実施。 ・植食性生物の駆除活動や母藻の供給活動など実績のある「五島モデル」を他地区へ横展開するとともに「磯焼けバスターズ」を形成し、地区を超えた磯焼け対策を実施。 	五島市では、磯焼けと呼ばれる藻場の消失現象が続いている。藻場は多くの水生生物の生活を支え、産卵や稚仔魚に生育の場を提供する役割があり、またCO ₂ を吸収し固定する効果はブルーカーボンと呼ばれ、新たなCO ₂ 吸収源として期待されている。そこで、五島市独自のクレジット認証制度の創設や、さらなる藻場再生活動を実施することで、持続可能な海洋資源の確保を図る。	R2実績 —
				R3実績 13,571
				R4実績

3. 総評

<p>◆漁協からの要望を受け、毎年1漁港以上の改良事業に取り組んでいる。令和3年度は継続して大浜漁港を実施し、増田漁港海岸に着手することができた。</p> <p>◆磯焼け対策は漁場環境の回復を目指すためにも必要な施策の一つとなっている。平成30年度に五島市磯焼けアクションプランを作成しており、本計画の確実な実施に向け、漁業者、漁協、民間事業者等が連携し取り組んでおり、計画以上に藻場面積の回復が進んでいるところである。</p>
--

4. 今後の取組方針

<p>◆令和4年度は、3漁港と1漁港海岸を実施予定であり、令和5年度～令和10年度の6箇年で6漁港と2漁港海岸の実施を計画している。</p> <p>◆平成30年度からスタートした実証事業も最終年度となり、本年度の実績をもって地域に応じた藻場回復手法のマニュアル等が示される予定である。今後はその手法に沿った普及・取組による藻場の面積拡大を目指す。</p>

戦略プロジェクト	I-2	水産業振興プロジェクト	所属課	水産課
重点事業	I-2-3	加工品開発と販売・地産地消の推進		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
新たな加工・販売施設の整備件数(累計)	目標値(件)	6	7	8	9	10	事業実績集計	A
	実績(件)	4	9					
五島メの匠の人数(累計)	目標値(人)	20	23	26	28	30	五島メ会からの報告	A
	実績(人)	21	23					
漁師食堂の利用者数	目標値(人)	4,300	4,600	4,900	5,200	5,500	事業者からの報告	C
	実績(人)	2,043	565					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	五島鮮魚出荷技術向上対策事業(五島メ)	鮮魚の鮮度保持に高い知識と技術を有すると認められる者を「五島メの匠」として認定し、その認定者が基準に則した鮮度保持方法を行った鮮魚を「五島メ」として販売する。	「五島メの匠」として人を認定することによる差別化でブランド化を図り、販路拡大と所得向上につなげる。	R2実績 1,052
				R3実績 1,581
				R4実績
2	大都市圏販路拡大事業	東京・福岡事務所と連携し、未利用魚を含めた水産物(加工品含む)の総合的な魅力発信と認知度向上及び販路拡大に取り組み、都市部での営業活動等を強化する。	東京・福岡事務所との連携を図ることで、大都市部での新たな販路開拓が進められることにより、漁家所得向上につなげる。	R2実績 174
				R3実績 106
				R4実績
3				R2実績
				R3実績
				R4実績
4				R2実績
				R3実績
				R4実績
5				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

◆令和3年度までに認定された23名の「五島メの匠」が集まり、講習会や鮮度技術の開発などの研修活動を行い、技術の向上に努めた。販路拡大については、コロナの影響で展示会等が中止となり、PR等の活動が十分にできなかった。ただし、長崎大学の協力を得て、メの手順の統一化を図るための検証を行った。また、漁連との連携を強化することが可能となったことで、新たな出荷体制等の構築を進めることができた。次年度以降も、引き続き漁協職員を含めた認定者の拡大や販売体制の構築に努めたい。

◆磯焼け対策の一環として、未利用魚の商品化を図るため、島外の飲食店でのPR活動を実施した。飲食店における評価は悪くないが、生鮮では価格や安定供給の課題があるため、加工品を含めた商流の構築を検討する必要がある。

◆漁師食堂は、平成30年度は4,091名の受入を行い、旅行業の関係者からも高評価を受け、令和元年の12月まで順調に利用者も拡大していたが、コロナの影響から令和2年の1月を境にキャンセルが相次いだ。令和3年度もコロナの影響が大きく、令和3年度は565人の受入にとどまった。

4. 今後の取組方針

◆五島メの取り組みと大都市圏における販路拡大事業については、水産物の付加価値化を図るためのブランド化や販路拡大に無くてはならない取り組みであるため、五島メについては匠の育成を、販路拡大については五島メで処理された鮮魚を中心とした商談を引き続き進めていく。また、長崎大学の協力を得て、五島メの売りの「見える化」を進め、数値等による差別化を図る。

◆未利用魚については、価格や供給、加工など様々な諸問題があるため、引き続き、漁業者、漁協、加工事業者と協議を重ねながら商流の構築を目指すとともに、飲食店等でのPR活動を継続していく。

◆漁師食堂は、コロナの影響から厳しい状況であるが、旅行会社や観光部署との連携を図りながら、コロナ対策の支援策の情報提供やコロナ回復後に向けた営業活動等への支援を行っていく。

戦略プロジェクト	I-3	物産・ブランド振興プロジェクト	所属課	文化観光課 (~R3観光物産課)
重点事業	I-3-1	ブランド化支援		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
五島市物産振興協会の売上額	目標値(千円)	335,000	342,000	348,500	355,000	362,000	市物産振興協会実績報告書	C
	実績(千円)	272,151	218,892					
前年度と比較して売上高が増加した五島市物産振興協会会員の割合	目標値(%)	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	各物産事業者への 間取り	C
	実績(%)	10.1	66.7					
新たな加工品の開発件数(累計)	目標値(件)	43	53	63	73	80	市物産振興協会への 間取り	A
	実績(件)	45	77					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	五島フェア開催事業	大都市圏の百貨店、スーパーや飲食店などで、五島の産品を取り扱ってもらうために五島フェアの開催を働きかける。	五島産品を生産または加工販売をしている事業者の五島市外での販路獲得、売上の増加につなげ、雇用の拡大を図る。	R2実績 10,921
				R3実績 11,346
				R4実績
2	マッチング支援事業	大都市圏及び市外の百貨店等のバイヤーや料理人を招聘し、地元生産者との商談を実施する。	新商品の開発や販路開拓・拡大につなげる。	R2実績 1,847
				R3実績 4,159
				R4実績
3	島外への集荷受発注運用事業	市内に構築した集荷システムを運用し、市内から大都市圏までの新たな物流体制を構築する。	輸送費の縮減と安定供給体制の確立を進め、販路拡大を促進する。	R2実績 7,138
				R3実績 8,738
				R4実績
4	五島産品販路拡大事業	大都市圏への営業職員の配置と商談会に参加する。	五島産品のPR及び営業力強化に繋げ、販路拡大を実現し、市内事業者の売上増、雇用増加を図る。	R2実績 6,771
				R3実績 6,492
				R4実績
5				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

五島市物産振興協会の売上額については、卸業販売収入は回復しつつあるものの、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により物産展開催収入が伸びず、また、「ふるさと納税返礼品業務」が令和3年10月から別事業者となったこと、令和2年度に実施した「五島市産品販路拡大促進事業」が令和3年度はなかったことにより、ギフト、ネット販売収入が令和2年度から減少したことから、令和2年度実績及び目標値を下回る結果となった。

前年度と比較して売上高が増加した五島市物産振興協会会員の割合については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度の売上高の減少が非常に大きかったため、「令和2年度に比べれば増加した。」と言う事業者は増えたが、目標達成には至らなかった。

新たな加工品開発件数については、県との連携などにより目標を大きく上回る事ができた。

4. 今後の取組方針

五島フェアの開催等により五島産品のブランド化を図るとともに、新型コロナウイルスの影響により需要が増えている個人消費に対応した商品開発の支援をするなどして、市内事業者の売上高の回復及び五島市産品の周知拡大を図る。

戦略プロジェクト	I-3	物産・ブランド振興プロジェクト	所属課	文化観光課 (~R3観光物産課) 政策企画課
重点事業	I-3-2	販路拡大支援		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
大都市圏(東京、福岡)での市産品取引店舗数	目標値(件)	140	142	145	148	150	市物産振興協会への開取り	C
	実績(件)	122	115					
大都市圏(東京、福岡)バイヤー招聘による取引成約件数	目標値(件)	55	56	57	58	60	マッチング支援事業・招聘事業による取引実績	C
	実績(件)	55	42					
集荷システム構築による売上高	目標値(千円)	25,000	28,000	30,000	33,500	37,000	島外への集荷受発注運用事業における売上高	C
	実績(千円)	12,594	10,306					
ふるさと納税返礼品取引額	目標値(千円)	51,000	52,000	53,000	54,000	55,000	財務会計執行状況	A
	実績(千円)	88,360	89,083					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	五島フェア開催事業	大都市圏の百貨店、スーパーや飲食店などで、五島の産品を取り扱ってもらうために五島フェアの開催を働きかける。	五島産品を生産または加工販売をしている事業者の五島市外での販路獲得、売上の増加につなげ、雇用の拡大を図る。	R2実績 10,921
				R3実績 11,346
				R4実績
2	マッチング支援事業	大都市圏及び市外の百貨店等のバイヤーや料理人を招聘し、地元生産者との商談を実施する。	新商品の開発や販路開拓・拡大につなげる。	R2実績 1,847
				R3実績 4,159
				R4実績
3	島外への集荷受発注運用事業	市内に構築した集荷システムを運用し、市内から大都市圏までの新たな物流体制を構築する。	輸送費の縮減と安定供給体制の確立を進め、販路拡大を促進することを目的とする。	R2実績 7,138
				R3実績 8,738
				R4実績
4	五島産品販路拡大事業	大都市圏への営業職員の配置と商談会に参加する。	五島産品のPR及び営業力強化に繋げ、販路拡大を実現し、市内事業者の売上増、雇用増加を図る。	R2実績 6,771
				R3実績 6,492
				R4実績
5	ふるさと納税推進事業	五島市を応援したい方々からインターネット上のふるさと納税ポータルサイト内で広く寄附を募るとともに、寄附者に対しお礼品の送付を行う。	寄附金増加による歳入確保、市内事業者の売上拡大及び、寄附金の活用による地域活性化に寄与する。	R2実績 131,428
				R3実績 146,869
				R4実績

3. 総評

<p>【大都市圏での市産品取引店舗数、大都市圏バイヤー招聘による取引成約件数、集荷システム構築による売上高】</p> <p>大都市圏での市産品取引店舗数及び集荷システム構築による売上高については、これまで取引のあった飲食店等の店舗において、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休業が相次ぐなどの理由から、目標を上回ることができなかった。</p> <p>バイヤー招聘による取引成約件数についても新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、招聘組数は当初予定より大幅に減少し、目標を達成することができなかった。</p> <p>【ふるさと納税返礼品取引額】</p> <p>ふるさと納税寄附額の約30%を返礼品として寄附者に郵送している。令和元年度の寄附額を参考に目標値を設定していたが、令和2年度、3年度は目標値を低く設定していたために目標を達成しているため、R4年度以降の目標寄附額に応じた返礼品取引額としたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度寄附目標額 350,000千円 → 返礼品取引額 105,000千円 ・R5年度寄附目標額 400,000千円 → 返礼品取引額 120,000千円 ・R6年度寄附目標額 450,000千円 → 返礼品取引額 135,000千円

4. 今後の取組方針

<p>【大都市圏での市産品取引店舗数、大都市圏バイヤー招聘による取引成約件数、集荷システム構築による売上高】</p> <p>大都市圏での五島産品のPR促進、バイヤー等の招聘による市内事業者の営業力強化、市内に構築した集荷システムの運用等により、五島市産品の販路拡大を図る。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響により、対会社との取引から対個人との取引へと、売上の占める割合が変動しているため、ギフト及びネット販売をより強化し、五島市産品の消費拡大を図る。</p> <p>【ふるさと納税返礼品取引額】</p> <p>令和3年10月からふるさと納税業務を外委託しており、ポータルサイトの魅力化や定期便数増加など寄附獲得増加に向けた施策を行っている。特に、新たなふるさと納税取扱事業者、返礼品を増やし、寄附獲得に繋げることで取引額、売上拡大に繋げていく。</p>
--

戦略プロジェクト	I-4	企業誘致・地場産業振興プロジェクト	所属課	商工雇用政策課
重点事業	I-4-1	企業誘致と就業支援		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
誘致企業数(累計)	目標値(件)	7	7	8	8	9	㈱ディールHP、㈱CSプレー、㈱シスプロ(H24撤退)、㈱中本製麺、㈱ピーイングDC、NCD㈱	C
	実績(件)	6	6					
誘致企業従業員(正社員)数	目標値(人)	72	78	98	105	128	㈱ディールHP(20)、㈱CSプレー(1)、㈱シスプロ(H24撤退)、㈱中本製麺(8)、㈱ピーイングDC(37)、NCD㈱(7)	B
	実績(人)	76	73					
高校生新卒者地元就職者数	目標値(人)	35	37	39	41	43	五高(1)、五高定時制(2)、海陽(11)、五島南(6)、奈留(1)、鶴南(3)	C
	実績(人)	34	24					
法令に基づく派遣事業実施団体の組織化(累計)	目標値(団体)	0	1	1	1	1	五島市地域づくり事業協同組合	A
	実績(団体)	1	1					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	企業立地及び雇用促進事業	市の指定企業となることで、固定資産税の免除や、雇用助成金の交付を受けることができる。	市内外企業の工場等の立地を促し、雇用の拡大に繋げる。	R2実績 27,342
				R3実績 13,600
				R4実績
2				R2実績
				R3実績
				R4実績
3				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

【誘致企業数、誘致企業従業員】

令和3度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、島外への積極的な営業や、島内視察の実施などが十分できなかったことから、新規誘致の実現はできなかった。

正社員数が全体として減少しているが、2社が従業員が全体として減少しており、3社については維持又は増加している。

【高校生新卒者地元就職者数】

合同企業説明会、PR動画作成などを実施し、新卒者の確保に努めたが目標の達成はできなかった。

【特定地域づくり事業協同組合】

R3年4月1日から派遣職員2名、組合員企業17者の体制で事業を開始した五島市地域づくり事業協同組合は、R3年度末には派遣職員7名、組合員企業20者となり、順調な滑り出しとなっている。

4. 今後の取組方針

【誘致企業数、誘致企業従業員】

五島市として、物流コストがかからないIT企業など情報系企業の誘致を進めている。誘致の実現には、ネット環境の充実が必須となる。また、アクセスの充実、自然が身近に感じられる場所が要件となることも多く、「五島ならではの環境を求めているIT企業が多い。

企業へ提供できる物件情報の収集や、地域協働課U・Iターン担当と連携をすることで人材の確保に努める。また、地域協働課ワーケーション企画と連携をとることで、誘致の候補となる企業の掘り起こしを図る。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があるなか、五島市へ興味を示したり、進出を検討している企業もあったことから、今後もそういった企業へのフォローをし、誘致に繋げることとした。

併せて、誘致企業の正社員雇用への働きかけも行う。

【高校生新卒者地元就職者数】

合同企業説明会、地元企業バスツアー、PR動画作成などを実施し、新卒者の確保に努める。

【特定地域づくり事業協同組合】

市内における人手不足の状況は継続しており、本組合に対する事業者からの期待は高い。また、市外からの移住希望者においても、五島市内にどのような仕事があるのか分からず、市内の職場を幅広く経験できる派遣職員に関心を示す方は多く、本組合の継続的な運用は不可欠であることから、市としても組合に対する運営支援を行っている。

戦略プロジェクト	I-4	企業誘致・地場産業振興プロジェクト	所属課	商工雇用政策課
重点事業	I-4-2	創業支援・経営力強化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
起業・創業件数 (累計)	目標値(件)	15	17	19	22	33	雇用機会拡充事業活用 事業者のうち創業した者	A
	実績(件)	27	32					
中小企業振興資金新規 貸付による新規雇 用者数(累計)	目標値(人)	45	45	45	45	45	中小企業振興資金新規 貸付先のうち当年度雇 用機会拡充事業実施者	A
	実績(人)	61	66					
経営コンサルタント 活用事業所数	目標値(社)	5	6	8	8	10	経営コンサルタント(キャ リアコンサルティング)派 遣先事業数	A
	実績(社)	未実施	6					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業 番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	国境離島地域維持補 助金(雇用拡充)	市内での創業及び事業拡大 を行う事業者を支援し、雇用創 出する。	特定有人国境離島地域にお ける持続的な居住が可能とな る環境の整備を図り、雇用を 創出する。	R2実績 378,786
2				R3実績 297,518
3				R4実績
4				R2実績
5				R3実績
				R4実績

3. 総評

【起業・創業件数、中小企業振興資金新規貸付による新規雇用者数】

令和3年度は雇用機会拡充事業による創業が5件で新規雇用6名が創出された。また、中小企業振興資金新規貸付を行った事業者のうち、新規雇用状況が把握できる4事業者(雇用機会拡充事業・事業拡大活用事業者)の新規雇用者数は5名であった。コロナ禍でも、例年並みの起業・創業がなされていることから、今後も雇用機会拡充事業等を活用し、創業を支援していく。

【経営コンサルタント活用事業所数】

令和3年度は、企業の経営において特に重要な人材管理を支援するため、キャリアコンサルタントの有資格者を事業所6事業所へ派遣し、指導助言を行った。キャリアコンサルティングにより経営者及び従業員の課題を洗い出し、従業員への指導方法や適材適所への配置を推進するとともに、新たな人材確保にかかる求人方法の指導を行うことで、従業員の定着(離職阻止)と新規雇用に寄与した。

4. 今後の取組方針

【起業・創業件数、中小企業振興資金新規貸付による新規雇用者数】

令和4年度は第1回採択時点で3件の創業計画が採択されており、第2回公募も実施することから、例年並みの創業がなされる公算である。ウイズコロナの風潮となってきた社会情勢も踏まえて、今後起業・創業を目指す機運が高まると予想されることから、雇用機会拡充事業等を活用し、起業・創業を促進していく。

【経営コンサルタント活用事業所数】

令和4年度は特定有人国境離島法に基づく雇用機会拡充事業の調査費を活用して、市内事業者に対し中小企業診断士の有資格者を派遣して、当該事業者の経営を専門家の眼で診断し、経営の改善指導を行うこととする。

戦略プロジェクト	I-5	再生可能エネルギー産業・次世代産業創出プロジェクト	所属課	未来創造課 (～R3再生可能 エネルギー推進室)
重点事業	I-5-1	再生可能エネルギー産業の創出		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
実証事業数 (累計)	目標値(件)	1	1	2	2	2	【環境省】潮流発電 技術実用化推進事 業(H28～R3)	A
	実績(件)	2	1					
浮体式洋上風力発 電設備容量(累計)	目標値(MW)	2	2	20	20	20	崎山沖2MW浮体 式洋上風力発電所 (H28.3月～)	A
	実績(MW)	2	2					
クリーンエネルギー車 の普及台数(累計)	目標値(台)	140	145	150	155	160	五島市税務課(軽自動車 税登録)及び長崎県税務 課(乗用車)の調査	A
	実績(台)	144	146					
再生可能エネルギー 関連企業の従業員数 (累計)	目標値(人)	89	94	97	100	104	各事業者への聞 き取り	A
	実績(人)	89	94					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業 番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	電気自動車導入促進 事業	五島市EV・ITS実配備促進協議 会に対して、急速充電器の設置 及び撤去費、電気使用料や修繕 料などの維持管理費を助成す る。	観光関連事業者等と連携して、 電気自動車を活用した環境にや さしい観光先進地を目指すこと で観光振興に寄与する。	R2実績 1,188
				R3実績 4,788
				R4実績
2	雇用機会拡充支援事 業	再生可能エネルギー関連企業へ の事業拡大や新規参入企業に対 して、新規雇用の人件費及び 設備費等を支援する。	安定的で良質な雇用機会の 増大を促進する。	R2実績 18,000
				R3実績 18,000
				R4実績

3. 総評

<p>【実証事業にかかる企業数】 九電みらいエナジー(株)による奈留瀬戸での潮流発電実証事業は国内初となる商用規模の大型潮流発電機(500KW)を令和3年1月に設置し、同年5月には経済産業省から電気事業法に基づく使用前検査の合格証を受領した。</p> <p>【浮体式洋上風力発電設備容量】 環境省実証事業後に平成28年3月から商用運転が開始され、五島フローティングウインドパワー合同会社が維持管理を行いながら順調に発電されている。</p> <p>【クリーンエネルギー車の普及台数】 環境省の事業により平成22年から導入して少しずつではあるが台数は増えている。</p> <p>【再生可能エネルギー関連企業の従業員数】 浮体式洋上風力発電事業をはじめ、風車メンテナンスや小売電気事業などで参入企業が増えており、従業員数は増えている。</p>
--

4. 今後の取組方針

<p>【実証事業にかかる企業数】 令和4年1月に、環境省の「潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業」公募が行われ、九電みらいエナジー(株)を事業実施主体とする提案が採択された。事業の概要は以下のとおり ＜実施場所:五島市奈留瀬戸、発電規模:1,000KW級潮流発電機1基、実施期間:令和4年度～令和7年度、予算規模:令和4年度は6.5億円、今後スケジュール:令和4年度:機器設計、発電機の部材、部品製造・調達を開始、令和5年度:500KW発電機を改造後、設置、令和6年度:発電開始、令和7年度:実証運転終了後、機器回収＞</p> <p>【浮体式洋上風力発電設備容量】 再エネ海域利用法に基づく事業者が令和3年6月に選定され、今後、8基程度のウインドファームを建設し、令和6年1月に供用を開始予定。</p> <p>【クリーンエネルギー車の普及台数】 本市においては、地球温暖化対策法に基づき、温室効果ガスの排出削減を推進する地球温暖化対策実行計画で、公用車の更新時に、低燃費車、ハイブリッド車、電気自動車の導入を検討するとしており、今後はガソリン車の更新時に合わせて、原則、電気自動車を導入する見込みである。</p> <p>【再生可能エネルギー関連企業の従業員数】 潮流発電の商用・実用化が実現されればさらに関連企業が増えることが見込まれる。</p>
--

戦略プロジェクト	I-5	再生可能エネルギー産業・次世代産業創出プロジェクト	所属課	未来創造課 (~R3再生可能 エネルギー推進室) 商工雇用政策課
重点事業	I-5-2	次世代産業の創出		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
技術開発等に関する実証事業誘致件数(累計)	目標値(件)	1	1	1	1	4	先端技術開発支援 事業選定事業者 (R2~R4)	A
	実績(件)	2	2					
ドローン等サービス創出数(累計)	目標値(件)	0	1	0	0	1	株そらいいな	A
	実績(件)	0	1					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	再生可能エネルギー分野先端技術開発支援事業	再生可能エネルギー分野において、AIやIoTなどの先端技術を活用した取組を実施する事業者を支援する。	先端技術を活かした新たな産業振興を図る。	R2実績 14,059
				R3実績 15,000
				R4実績
2	ドローンi-Landプロジェクト	・気象観測事業 ・海洋ゴミ調査事業 ・無人物流実証事業 ・農地作付け確認事業	地域課題の解決の手段として、ドローン等ICT技術を活用する。その先にドローン等による新たな産業及び雇用を創出を図る。	R2実績 7,732
				R3実績 38,117
				R4実績
3				R2実績
				R3実績
				R4実績
4				R2実績
				R3実績
				R4実績
5				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

<p>【技術開発等に関する実証事業誘致件数】 再生可能エネルギー分野先端技術開発支援事業を公募したところ2者の応募があり、先端技術を活用した取り組みを支援した。 ①風力発電メンテナンスにおける生産性向上及び遠隔管理体制の構築、並びに、人材育成を目的とした施設整備 ②小売電気事業者向け電力需給管理システム及び低コスト発電・蓄電システムの開発</p> <p>【ドローン等サービス創出数】 ドローンi-Landプロジェクトにより、ドローン関連産業の創出に向けた取組を行った結果、令和3年度に豊田通商(株)の子会社である(株)そらいいなが設立され、五島市にドローン物流拠点の整備が実現した。</p>
--

4. 今後の取組方針

<p>【技術開発等に関する実証事業誘致件数】 再生可能エネルギー分野先端技術開発支援事業は令和4年度で終了するため、脱炭素化に向けた事業など再生可能エネルギー産業や次世代産業を創出する事業を検討する。</p> <p>【ドローン等サービス創出数】 ドローンi-Landプロジェクトにより、ドローン関連産業の創出に向けた実証事業を実施し、新たな産業及び雇用の創出を目指す。</p>
--

基本目標	II	五島の魅力を発信し、世界に誇れる“しま”をつくる	所属課	文化観光課 (～R3観光物産課) 地域協働課
------	----	--------------------------	-----	------------------------------

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
観光入り込み客数	目標値(人)	273,000	284,000	292,000	298,000	300,000	五島市観光統計調査	C
	実績(人)	123,703	118,441					
延べ宿泊数	目標値(泊)	191,000	199,000	205,000	208,000	210,000	長崎県観光統計調査	C
	実績(泊)	126,371	141,661					
観光消費額	目標値(億円)	91.0	94.0	97.0	99.0	100.0	五島市観光統計調査	C
	実績(億円)	46.1	44.4					
Uターン者数(ワンストップ窓口利用者数)	目標値(人)	300	300	300	300	300	Uターン者数の実績	C
	実績(人)	204	226					

2. 総評

【観光入り込み客数】

平成30年7月の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録により、その構成資産である「久賀島の集落」と「奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)」が所在する本市の観光入込客数は、平成30年、令和元年と2年連続して過去最高を記録した。しかし、令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う観光需要の大幅な減少等により本市の観光は甚大な影響を受け続け、令和3年の観光入込客数は、過去最大幅に落ち込んだ令和2年からさらに減少した。

【延べ宿泊数】

前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、ビジネス需要に一定の回復がみられたこと、また、「ふるさとで“心呼吸”の旅キャンペーン」が実施されたことなどにより、延べ宿泊数は対前年増となった。

【観光消費額】

令和3年における観光消費額は44億3,813万円と推計する。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年から2年連続で大きく減少しており、新型コロナウイルスが本市経済に及ぼした影響は著しく大きい。

【Uターン者数(ワンストップ窓口利用者数)】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、首都圏での対面による移住相談会は中止せざるを得なかったが、新たな情報発信ツールを導入するとともに、オンライン移住相談を常設したり、商工雇用政策課と連携し就職情報の提供を入口としたセミナーを実施するなど、新たな取組みを行ったことで移住相談数が増え、移住者数増につながった。

3. 今後の取組方針

【観光入り込み客数、延べ宿泊数、観光消費額】

アクションプランの目標値達成のためには、まず観光入り込み客数を回復させる必要がある。そのため、アフターコロナを見据えての観光キャンペーンを実施し、島外に向けて五島市の魅力をPRしている。また宿泊日数を伸ばすために体験プランを含んだ旅行商品の開発を行っている。観光入り込み客数が増え、延べ宿泊数が増えれば必然と観光消費額は増加すると考える。

【Uターン者数(ワンストップ窓口利用者数)】

定期的なオンライン移住相談を継続するとともに、ターゲット別のオンラインイベントを実施するなど、時代に即した情報発信を行っていく。併せて、過去の相談カルテを見直し、相談実績がある方にアプローチすることで、移住者増に繋げたい。

良質な空き家の発掘及び行政経費削減のために空き家バンクの運営業務を令和4年10月から民間へ業務委託する。

戦略プロジェクト	II-1	観光による交流拡大プロジェクト	所属課	文化観光課 (~R3観光物産課)
重点事業	II-1-1	五島の魅力を活かした旅行商品・体験プログラムの造成		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
世界遺産関連ツアーへの参加者数	目標値(人)	3,700	3,800	3,870	3,940	4,000	世界文化遺産ツアー「五島列島キリシタン物語」参加者数	C
	実績(人)	1,037	1,072					
着地型旅行商品の利用客数(年度)	目標値(人)	7,300	7,500	7,700	7,850	8,000	上記キリシタン物語、鬼岳星空ナイトツアー、定期観光バスの参加者数	C
	実績(人)	3,355	3,350					
宿泊客1人あたりの延べ宿泊数	目標値(泊)	1.47	1.50	1.53	1.56	1.60	市観光統計	A
	実績(泊)	1.64	1.93					
民泊許可軒数	目標値(軒)	160	163	166	168	170	保健所許可件数	C
	実績(軒)	162	146					
常時受入可能な民泊軒数	目標値(軒)	80	85	90	95	100	受入実態調査	B
	実績(軒)	85	77					
教育旅行受入人数	目標値(人)	4,350	4,500	4,650	4,830	5,000	市観光統計 (修学旅行)	C
	実績(人)	530	407					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	おもてなしのしま五島プロジェクト事業	「五島列島おもてなし協議会」において、着地型観光商品の造成や、新しい観光素材の開発、ガイド向け研修、実証ツアーなどを実施する。	滞在型観光の推進による宿泊促進及び交流人口の拡大を図る。	R2実績 10,296
				R3実績 10,204
				R4実績
2	稼げる観光！五島アイランドプロジェクト事業	体験型教育旅行の受入システム及び特色のある体験プログラムの充実を図ることで稼ぐ仕組みを構築する。	体験型観光による交流人口の拡大を通して地域経済の活性化及び体験型観光の産業化を図る。	R2実績 20,101
				R3実績 19,140
				R4実績
3				R2実績
				R3実績
				R4実績
4				R2実績
				R3実績
				R4実績
5				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

世界遺産関連ツアーを含む着地型旅行商品及び教育旅行の受入人数については、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を大きく下回った。一方で宿泊客1人あたりの延べ宿泊数は、令和2年度より0.29ポイント増で、目標値を大きく上回ったが、これは滞在時間の長いビジネス客の占める割合が大きくなったものと推定する。
また、民泊許可軒数については、新規登録はあったものの、高齢化等の理由による廃業が多く、目標値を下回った。

4. 今後の取組方針

新型コロナウイルス感染症の影響はいまだ収束していないことから、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業を展開する。
既存の着地型旅行商品については引き続き磨き上げを実施しつつ、マイクロツーリズムを想定した情報発信の強化を図る。また、サイクリングや釣りといった個人観光客向けの商品開発に取り組んでいく。
教育旅行についても長崎県内や近隣地域への営業を強化するとともに、SDGsを取り入れたプログラムの開発に取り組んでいく。また、民泊家庭確保のため、民泊体験に係る情報発信や新規民泊の勧誘活動を推進する。

戦略プロジェクト	II-1	観光による交流拡大プロジェクト	所属課	文化観光課 (~R3政策企画課)
重点事業	II-1-2	ジオパークの仕組みを活かした取り組み		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
講座及びジオツアー参加者の満足度	目標値(%以上)	60	65	70	75	80	参加者へのアンケート又は聞き取り	A
	実績(%以上)	100	94.9					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	ジオパーク推進事業	ジオツアーや市民向け講座の実施、ジオガイド育成、解説板の整備、ジオサイト見直し、学校でのジオパーク学習、情報発信、日本ジオパーク認定に向けた準備等を行う。	講座や学校での授業、情報発信を通じ地域資源の価値の理解が進み、住民による活動や企業によるツアー実施など、ジオパークを活かした取組を増やす。	R2実績 11,165
				R3実績 10,682
				R4実績
2				R2実績
				R3実績
				R4実績
3				R2実績
				R3実績
				R4実績
4				R2実績
				R3実績
				R4実績
5				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

令和3年4月に日本ジオパーク新規認定の再申請を行い、5月のプレゼンテーション審査、11月の現地調査を経て、令和4年1月28日に「五島列島(下五島エリア)ジオパーク」として日本ジオパーク認定となった。これは、五島の地質遺産をはじめ生態系、歴史文化といった地域資源の価値に加え、これまでの地道な取り組み、ジオパークの仕組みを活かした地域活動が評価された結果である。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響が続きイベント実施が制限される中で、日本ジオパーク認定申請と並行して、協議会組織の機能拡充、学校や一般向けのジオパーク学習の推進、YouTubeや広報ごとう等を活用した情報発信、ジオツアーや教育活動での活用を見据えたジオガイドの育成、学術研究や普及啓発につながる助成事業の実施により、五島市内でのジオパーク活動の進展が図られた。また、拠点施設となる鏡瀬ビジターセンターの再整備に関しても、新型コロナウイルスの影響により整備内容の関係者協議の実施が難しい状況が続きスケジュールに大幅な遅れが生じたものの、年度末に建設工事及び展示改修にかかる業者選定・契約を終え、着工に向けた準備が整った。

4. 今後の取組方針

令和3年度の日本ジオパーク認定に際し、審査員から解決の時期を3区分(1年以内、2年程度、中長期)に分けて課題が示されている。これらの課題は、今後、ジオパーク活動の推進を図るうえで重要であり、4年後の再認定の審査対象となるので、解決に向けて計画的な行動をしていく必要がある。とりわけ、1年以内及び2年程度で解決が必要な次の項目を最重要課題と捉え、取組を進める。

①ホームページの情報充実 ②水晶岳の保全 ③五島列島全域へのエリア拡大の戦略 ④ビジターセンタースタッフとジオガイドの連携体制の構築 ⑤溶岩トンネルの保全と活用 ⑥気候変動や自然災害への意識醸成 ⑦ジオツーリズムの推進(テーマを感じられるツアー造成、アクティビティ業者との連携)

戦略プロジェクト	Ⅱ-1	観光による交流拡大プロジェクト	所属課	文化観光課 (～R3観光物産課)
重点事業	Ⅱ-1-3	受入基盤の整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
観光ガイド登録者数	目標値(人)	49	52	55	58	60	ガイド団体等への聞き取り	C
	実績(人)	46	42					
受入のための講習会などの受講者数	目標値(人)	230	235	240	245	250	五島列島おもてなし協議会実施の研修会等及び外国語講座の参加者数	C
	実績(人)	0	59					
世界遺産ガイド登録者数	目標値(人)	22	24	26	28	30	世界文化遺産ツアー「五島列島キリシタン物語」登録ガイド数	C
	実績(人)	16	17					
キャッシュレス設備の稼働事業者数(宿泊施設及び観光協会会員)	目標値(社)	43	51	59	65	72	宿泊施設実態調査、観光協会聞き取り	A
	実績(社)	43	63					
来訪者の満足度	目標値(%)	84.2	85.7	87.2	88.5	90.0	観光客アンケート調査(五島列島おもてなし協議会実施)	C
	実績(%)	0	0					
観光客リピーター意向	目標値(%)	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	観光客アンケート調査(五島列島おもてなし協議会実施)	C
	実績(%)	0	0					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	おもてなしのしま五島プロジェクト事業	「五島列島おもてなし協議会」において、着地型観光商品の造成や、新しい観光素材の開発、ガイド向け研修、実証ツアーなどを実施する。	滞在型観光の推進による宿泊促進及び交流人口の拡大を図る。	R2実績 10,296
2				R3実績 10,204
3				R4実績
4				R2実績
5				R3実績
				R4実績

3. 総評

高齢化等の理由により、ガイド登録者数は令和2年度及び目標値を下回る結果となった。
また、新型コロナウイルス感染症対策として、三密を回避した結果、講習会受講者数は目標を大きく下回った。
一方、コロナ対策としての接触の回避と昨今のキャッシュレスブームにより、キャッシュレス設備の稼働事業者数は目標を上回った。

4. 今後の取組方針

ガイドの高齢化、人材不足は喫緊の課題であり、引き続き各ガイド団体等と連携を図りつつ、郷土検定や現地講座の実施、研修会への参加等により、ガイド人材の掘り起こし・育成、ガイド力の向上に取り組んでいく。

戦略プロジェクト	Ⅱ-1	観光による交流拡大プロジェクト	所属課	文化観光課 (～R3観光物産課)
重点事業	Ⅱ-1-4	セールス・プロモーション		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
大型船誘致数	目標値(隻)	4	5	5	5	5	大型客船入港実績	C
	実績(隻)	0	0					
外国人観光客数	目標値(人)	1,840	1,880	1,920	1,960	3,000	市観光統計<外国人 宿泊客実数>	C
	実績(人)	182	159					
外国人対応ガイド 登録者数	目標値(人)	3	4	4	5	5	ガイド団体等からの聞き取り	C
	実績(人)	3	3					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	外国人観光客誘致事業	旅行会社等との外国人観光客送客に応じた委託業務、旅行会社等への営業活動及びツアー助成支援を実施する。	団体・個人旅行の旅行商品造成及び誘客促進、外国人観光客の増加を図る。	R2実績 2,000
				R3実績 2,000
				R4実績
2	外国人向け情報発信事業	国際交流員と連携して、自然・歴史文化・体験プログラム等をSNS等により海外に広く発信する。	五島市の認知度向上及びインバウンド需要の拡大を図る。	R2実績 2,493
				R3実績 3,144
				R4実績
3	インバウンド誘致業務	ターゲット地域からの誘客に実績のある旅行会社、メディア等のうち国内にその拠点のあるものを招致する。	五島市の強みとなる観光資源の磨き上げや、情報発信、受入環境の整備を図る。	R2実績 —
				R3実績 6,983
				R4実績
4	在留外国人モニターツアー事業	在留外国人のうちターゲット地域からの訪日旅行に詳しい専門家やインフルエンサーを対象に招聘旅行を実施する。	参加者のSNS等発信により五島市の認知度向上を図るとともに、五島市の受入環境等に係る課題を抽出する。	R2実績 —
				R3実績 5,993
				R4実績
5				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年度に引き続き大型客船の入港はなく、「外国人観光客数」は激減した昨年度をさらに下回った。なお、「外国人対応ガイド登録者数」は、人材の発掘・育成の機会創出が困難であったが、昨年度の数値を維持することができた。

4. 今後の取組方針

インバウンド受入の本格的な再開を見据えつつ、県と連携を図りながら欧米豪や東アジアのターゲットごとに当市の魅力を発信するとともに、観光施設の多言語化を進めていく。また、市内事業者との連携を強化し、インバウンド受入体制を充実させるとともに、外国人対応ガイド人材の発掘・育成に取り組んでいく。

戦略プロジェクト	II-2	UIターン促進プロジェクト	所属課	地域協働課
重点事業	II-2-1	受入体制の整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
移住相談件数	目標値(件)	462	462	462	462	462	電話、メール、窓口、オンライン相談の総計	A
	実績(件)	364	500					
空き家バンクの成約軒数	目標値(軒)	33	33	33	33	33	空き家バンク成約の実績数	B
	実績(軒)	41	31					
移住者の5年間定着率	目標値(%)	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	定着者数817人を移住者数982人で除した割合	B
	実績(%)	80.2	83.2					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	空き家活用促進事業補助金	移住希望者へ空き家の情報を提供する「五島市空き家バンク」へ登録された物件の改修等に要する経費の一部を助成する。	移住希望者への住まい支援策を強化することにより、本土と比較して地理的環境が悪い離島においても移住しやすい環境を整備する。	R2実績 14,829
				R3実績 17,242
				R4実績
2	子育て世帯等移住促進事業補助金	定住する意思をもって転入する子育て世帯等を助成する。	移住希望者への住まい支援策を強化することにより、本土と比較して地理的環境が悪い離島においても移住しやすい環境を整備する。	R2実績 4,134
				R3実績 2,632
				R4実績
3	奨学金返還支援助成金	五島市で就労する35歳未満の方の奨学金の返還費用の一部を助成する。	若年層の定住の促進及び市内の産業を担う人材の確保を図り、人口減少対策を推進する。	R2実績 9,789
				R3実績 14,158
				R4実績
4	移住希望者定住支援補助金	移住を希望する方が五島市内での就職面接や起業調査を行う場合の旅費の一部を助成する。	UIターンによる転入者の増加を図る。	R2実績 429
				R3実績 227
				R4実績
5	移住支援金(わくわく地方生活)	東京圏から移住した方に、長崎県が定める移住支援事業、マッチング支援事業及び創業支援事業に基づく移住支援金を交付する。	五島市への移住及び定住の促進並びに中小企業等における人手不足の解消を図る。	R2実績 1,600
				R3実績 4,400
				R4実績

3. 総評

・新型コロナウイルス感染症の拡大により、首都圏での対面による移住相談会は中止せざるを得なかったが、新たな情報発信ツールを導入するとともに、オンライン移住相談を常設したり、商工雇用政策課と連携し就職情報の提供を入口としたセミナーを実施するなど、新たな取り組みを行ったことで移住相談数増につながった。なお、R3相談件数は、R2実績の約1.4倍となった。
 ・空き家バンクに関しては、新型コロナウイルス感染症の拡大により移住者の受入を中断した影響が大きく、目標を下回る成約数となった。

4. 今後の取組方針

・定期的なオンライン移住相談を継続するとともに、ターゲット別のオンラインイベントを実施するなど、時代に即した情報発信を行っていく。
 ・移住者同士が繋がったり、移住者と地域の方が触れ合うイベントを開催するなどして、移住者が定住しやすくなるきっかけをつくり、定着率向上を目指す。
 ・良質な空き家の発掘及び行政経費削減のために空き家バンクの運営業務を令和4年10月から民間へ業務委託する。

戦略プロジェクト	II-2	Uターン促進プロジェクト	所属課	地域協働課
重点事業	II-2-2	情報発信・プロモーションの推進		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
40歳未満のUターンの移住者数	目標値(人)	225	225	225	225	225	Uターン者数の実績	C
	実績(人)	158	156					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	子育て世帯等移住促進事業補助金	定住する意思をもって転入する子育て世帯等を助成する。	移住希望者への住まい支援策を強化することにより、本土と比較して地理的環境が悪い離島においても移住しやすい環境を整備する。	R2実績 4,134
				R3実績 2,632
				R4実績
2	奨学金返還支援助成金	五島市で就労する35歳未満の方の奨学金の返還費用の一部を助成する。	若年層の定住の促進及び市内の産業を担う人材の確保を図り、人口減少対策を推進する。	R2実績 9,789
				R3実績 14,158
				R4実績
3	移住希望者定住支援補助金	移住を希望する方が五島市内での就職面接や起業調査を行う場合の旅費の一部を助成する。	Uターンによる転入者の増加を図る。	R2実績 429
				R3実績 227
				R4実績
4				R2実績
				R3実績
				R4実績
5				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

単身の移住者が昨年比11%増。60代以上の単身Uターンが増えたことが影響している。
 なお、令和3年度の移住者のうち69%が40歳未満の若者であった。

4. 今後の取組方針

ファミリー層を増やすため、子育て支援についての情報発信に力を入れる。
 こども未来課と連携し、子育て支援セミナーの実施や、子育て支援ページの改修に取り組む。

戦略プロジェクト	II-3	スポーツを通じた交流拡大プロジェクト	所属課	スポーツ振興課
重点事業	II-3-1	誘致活動の強化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
スポーツ合宿延べ団体数	目標値(団体)	124	126	128	130	130	五島市での合宿実施団体数	C
	実績(団体)	33	36					
スポーツ合宿延べ宿泊数	目標値(人)	4,560	4,640	4,720	4,800	4,800	五島市での合宿実施団体延べ宿泊数	C
	実績(人)	1,588	2,470					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	スポーツ合宿団体の誘致活動事業	小中高校生の夏・春・冬休み期間の合宿及び実業団の合宿誘致に向けて、学校、大会等へ出向き営業を行う。	新規及び継続団体に対して情報提供等を行うことで合宿の誘致を図る。	R2実績 223
				R3実績 749
				R4実績
2	長崎県スポーツコミッションとの連携事業	大学、実業団、プロ等を誘致する長崎県スポーツコミッションと連携して誘致活動やスポーツ合宿に係る経費の補助を行う。	大学、実業団、プロ等の増加を図り、普段見ることのできないトップアスリート等の練習を見ることにより競技力の向上を図る。	R2実績 1,486
				R3実績 2,264
				R4実績
3	スポーツ交流人口拡大推進事業	スポーツ合宿に係る宿泊・交通費の一部補助や合宿環境の支援等を行う。	スポーツ合宿に伴う経費等の支援により実施団体の増加を図ることで、地域間交流を促進し、市内スポーツの競技力向上と経済の活性化を図る。	R2実績 5,721
				R3実績 5,992
				R4実績

3. 総評

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により合宿受け入れの自粛やキャンセルが影響し、目標達成には至らなかったが、コロナ禍の中でも営業活動や広報活動を実施した結果、令和2年度よりも延べ宿泊数は約1,000泊増となり地域経済の活性化に繋がる取組みとなった。

受入団体数 延べ宿泊数

R01 125団体(1,954人) 5,423泊
R02 33団体(429人) 1,588泊
R03 36団体(644人) 2,470泊

4. 今後の取組方針

年間を通して(特に閑散期(1~3月))誘致を進め、交流人口増に繋げるため、合宿に来ている競技団体や地元団体(競技団体、小中高)、大学と連携し、競技者や顧問同士の横の繋がりによる効果的な誘致活動を実施していく。

新たな団体確保のため、動画配信やHP、パンフレットを充実させ五島市の魅力を発信する(HPやSNSの積極的更新)。

戦略プロジェクト	II-3	スポーツを通じた交流拡大プロジェクト	所属課	スポーツ振興課
重点事業	II-3-2	スポーツ施設等の充実		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
スポーツ施設利用者数	目標値(人/日)	1,238	1,256	1,273	1,291	1,309	各スポーツ施設の1日あたりの利用実績の合計	C
	実績(人/日)	742	951					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
				R2実績
1	五島市中央公園長寿命化事業	国の補助事業を活用して施設・設備の改修等を行う。	市民及びスポーツ合宿団体の利便性の向上を図る。	30,162
				30,136
2	五島市中央公園多目的広場夜間照明施設改修事業	スポーツ振興くじ助成金(toto)を活用して、中央公園多目的広場の夜間照明施設をLED化に改修を行う。	市民及びスポーツ合宿団体の利便性の向上を図る。	-
				58,215
3				
4				
5				

3. 総評

市民のスポーツ活動の拠点となっている中央公園については、長寿命化計画を策定し、国の社会資本整備総合交付金を活用して老朽化した施設・整備の計画的な改修を行っている。令和3年度は、中央公園の観客席、外周フェンスの改修、長寿命化計画更新策定業務を行った。また、スポーツ振興くじ助成金を活用して、多目的広場の夜間照明施設をLED化に改修を行った。

市全体におけるスポーツ施設の利用者数については、新型コロナウイルスの感染拡大で施設の閉鎖や学校施設の利用制限、スポーツ合宿のキャンセルなどがあり、前年度から増加したものの目標値を下回っている。

4. 今後の取組方針

スポーツ施設については、市民やスポーツ活動団体が練習や合宿等に取り組めるよう、補助事業等を活用して計画的に既存施設の改修や設備の充実を行う。

また、スポーツ施設の利用者増に向けて、コロナ禍においてもスポーツ合宿の誘致に注力するとともに、市民に対してもスポーツ活動に取り組めるように、啓発を行っていく。

戦略プロジェクト	II-3	スポーツを通じた交流拡大プロジェクト	所属課	スポーツ振興課
重点事業	II-3-3	スポーツを通じた地域振興		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
スポーツ集客イベントへの参加者数	目標値(人)	5000	5080	5160	5240	5300	スポーツイベントの参加者数	C
	実績(人)	276	280					
スポーツ集客イベントの開催数	目標値(大会)	5	6	6	6	6	スポーツイベントの開催数	C
	実績(大会)	2	2					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	五島長崎国際トライアスロン大会事業	日本でも数少ないロングの大会。 ・Aタイプ226.2km(スイム3.8、バイク180.2、ラン42.2) ・Bタイプ147.1km(スイム2.0、バイク124.0、ラン21.1)	トライアスロン競技の普及及びゴールデンウィーク明けの(6月)の集客対策として行う。	R2実績 3,549
				R3実績 493
				R4実績
2	五島列島夕やけマラソン大会事業	マラソン大会の中でも珍しい夏場の夕方にスタートし夕陽を背に走る大会。 ・ハーフ及び5km	島外のランニング愛好者との交流及び夏(8月)後半の集客対策として行う。	R2実績 700
				R3実績 470
				R4実績
3	五島つばきマラソン大会事業	椿まつりとタイアップした冬場のマラソン大会。 ・フル(リレー含む)及びハーフ	島外のランニング愛好者との交流及び冬(2月)の集客対策として行う。	R2実績 1,599
				R3実績 1,273
				R4実績
4	県下リトル少年柔道大会	幼児～小学3年生までを対象とした柔道の県大会として、男女それぞれ団体戦と個人戦を行う。	出場大会数の少ない小学校低学年以下の県大会を開催することで交流人口の増加を図る。	R2実績 83
				R3実績 35
				R4実績
5	絶景福江島マラニック大会	スピードは競わず、仲間と会話しながら五島の大地を巡る。	新たなスポーツイベントを開催することで地域の活性化を図る。	R2実績 1,000
				R3実績 702
				R4実績
6	五島列島福江島グラウンド・ゴルフ交流大会	年齢性別を問わず行えるグラウンド・ゴルフを通じて、仲間づくりと交流を深め、スポーツを通じ交流人口を増大させる。	新たなスポーツイベントを開催することで地域の活性化を図る。	R2実績 -
				R3実績 0
				R4実績

3. 総評

新型コロナウイルス感染症の影響により、3大スポーツイベントが令和2年度から2年連続中止となり、スポーツ集客イベントの参加者数は目標達成に至っていない状況にある。そのような中でも感染状況を見定め、感染対策を図りながら実施した「マラニック大会」は新たなスポーツ集客イベントとして開催することができた。

4. 今後の取組方針

・新型コロナウイルス感染拡大により、3大スポーツイベントを含めスポーツイベントが相次いで中止となっているため、感染防止策を図りながらイベントが開催できる体制を整え、積極的に広報・営業し参加者数の増加に繋げる。
・3大スポーツイベントに次ぐ新たなスポーツ集約イベントを定着させ、スポーツを通じた交流人口を増大させる。

基本目標	Ⅲ	安全・安心で住みやすさ日本一の“しま”をつくる	所属課	国保健康政策課、地域協働課、各支所
------	---	-------------------------	-----	-------------------

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
特定健診の受診率	目標値(%)	40.0	53.0	56.0	60.0	60.0	集団・個別健診、人間ドック等受診者/対象者	C
	実績(%)	26.6	35.1					
がん検診受診率	目標値(%)	15.0	17.0	21.0	23.0	25.0	各対策型がん検診・若年乳がん検診、前立腺がん検診全体の平均受診率	C
	実績(%)	12.5	12.6					
住みやすいと感じる市民の割合	目標値(%)	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	市民アンケート	B
	実績(%)	73.6	72.2					

2. 総評

【特定健診の受診率】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団健診を予約制にして実施している。令和3年度受診率は令和2年度と比較して増加しているが、令和元年度の受診率には届いていない。県内でも21自治体中16位と低い状況にある。

【がん検診受診率】

いずれの健診もコロナ前の受診率には届いていない。令和2年度と比較すると、胃がん・肺がん・大腸がん検診は向上している。乳がん・子宮がん検診は2年に1度の受診で、令和2年度と令和3年度の受診者数の合計を令和3年度の対象者で割るため、令和2年度の受診率低下が影響して、令和3年度の受診率が伸びなかった。

【住みやすいと感じる市民の割合】

市民アンケートの結果、昨年度の数値と大きな変化はなく、目標値を下回っている。

3. 今後の取組方針

【特定健診の受診率】

- ・受診勧奨通知(長崎県ICTを活用した特定健診受診率向上対策事業)
- ・受診した者に抽選で、賞品を送る
- ・特定健診推進員による訪問受診勧奨
- ・健康診断結果の提供依頼(各事業所)
- ・情報提供事業の活用
- ・広報ごとう等の活用
- ・新規の国民健康保険被保険者に対する受診勧奨
- ・医師会・各医療機関へ協力依頼

【がん検診受診率】

- ・胃がん検診(胃内視鏡検査)の開始により、胃がん検診の受診率向上を目指す。
- ・地区巡回検診の1月実施分に女性デーを設定し、健康診査との同時実施等の受診しやすい環境を整備し、女性がん検診の受診率向上を目指す。

【住みやすいと感じる市民の割合】

満足度が得られるような各種施策に取り組んでいく。

戦略プロジェクト	Ⅲ-1	健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト	所属課	地域協働課、各支所、政策企画課
重点事業	Ⅲ-1-1	地域コミュニティの維持・活性化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
新たな地域課題解決に向けた取り組み	目標値(件)	39	39	39	39	39	地域の特性を活かしたまちづくり活動件数	B
	実績(件)	36	37					
地域おこし協力隊の定住率	目標値(%)	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	令和3年度末のべ地域おこし協力隊退職隊員数24(うち定住者数11)	C
	実績(%)	50.0	45.8					
地域課題解消に向けた大学との連携事業数	目標値(事業)	11	12	13	14	15	<ul style="list-style-type: none"> ・しまなびプログラム ・SDGs(フードロス)や「食を通じて地域貢献する」をテーマにした講義 ・寄附講座「離島へき地医療学講座」 ・長崎大学歯学部と五島市の歯科保健に係る連携・協力 ・長崎大学 離島医療・保健実習 ・法科大学院生等の「行政と司法との連携」についての学習 	C
	実績(事業)	4	6					
五島日本語学校留学生数	目標値(人)	50	100	100	100	100	令和3年4月在籍者数(1期生16名、2期生27名)	C
	実績(人)	16	43					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	地域の絆再生事業	地域住民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、住民同士が互いに支え合う「地域の絆」の再生を図るとともに、市民力を結集し、地域の特性を活かしたまちづくりを推進する取組を展開する。	まちづくり協議会自らの計画に基づく地域づくりを実践し、住民自治を実現する。	R2実績 36,138
				R3実績 32,939
				R4実績
2	集落支援員事業	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会事務局運営 ・地域住民の意見収集 ・地域の状況調査、課題整理 ・地域の課題解決 	五島市地域の絆再生事業交付金事業の全地区実施に伴い、各地区に集落支援員を配置し、それぞれ「まちづくり協議会」の事務局を担いながら集落の課題解決に向けた活動を行う。	R2実績 4,228
				R3実績 3,603
				R4実績
3	地域おこし協力隊事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ジビエ肉等の利活用技術伝承 ・多世代交流による教育プログラム構築、教育コーディネーター ・地域とともに商店街活性化、商店街活用コーディネーター ・奈留高校離島留学生寮運営、学習塾運営、多世代交流事業の企画、実施 	都市部の意欲ある人材を積極的に受け入れ、新しい視点や発想によって新たな価値の創出や地域の活性化を図ることを目的として、地域おこし協力隊を配置する。また、地域協力活動を通じて、任期終了後の地域への定住定着を図る。	R2実績 26,920
				R3実績 27,734
				R4実績
4	とんめこみゆ×2まつり事業【富江支所】	スポーツレクリエーションにより地域の交流の場を創設する。	地域主導型で地域の賑わいを創り、市民の健康意識の向上を図る。 ※令和2～3年度は新型コロナウイルスのため中止。	R2実績 0
				R3実績 0
				R4実績
5	多郎島地区公園で健康づくり事業【富江支所】	多郎島地区公園において、ウォーキングや各種教室を開催する。	多郎島地区公園を健康づくりの拠点施設として機能充実を図り、市民の健康づくりに寄与する。	R2実績 255
				R3実績 118
				R4実績
6	富江の観光・史跡等整備事業【富江支所】	富江の観光地や史跡等を市民ボランティアによって整備する。	地域住民の郷土愛を育む ※令和2～3年度は新型コロナウイルスのため中止。	R2実績 0
				R3実績 0
				R4実績
7	地場産品消費拡大事業【玉之浦支所】	玉之浦町産業まつりにおいて、ジビエ肉、養殖マグロの地場産品としての普及啓発を行い消費拡大を図る。	玉之浦支所管内では、多くのシカが捕獲されている。また、玉之浦湾では、クロマグロの養殖が行われているが、その大半が市外へ出荷されていることからこれらを地場産品として地元での消費拡大を図る。	R2実績 773
				R3実績 448
				R4実績
8	生物多様性維持につながるインタープリター育成事業【玉之浦支所】	玉之浦の貴重な自然資源の保全とその資源を活かした地場産品を創設する。	玉之浦の動植物、有害鳥獣問題を紹介するツアーガイド育成、エコツアーの実施。捕獲された有害鳥獣を活用し産業化する。また、自然教育事業を地元小中学生及び修学旅行生を対象に行う。	R2実績 -
				R3実績 306
				R4実績

9	五島つばきマラソン大会 【三井楽支所】	五島市の冬の一大イベントとして、長崎県内唯一のフルマラソン大会を開催する。	市民のスポーツに対する関心及び意識の向上を目指し走競技の普及拡大を図る。交流人口の拡大により市の活性化と市民総参加による連帯感と親睦を図りながら、五島市の冬の一大イベントとして島内外の交流の場を提供する。	R2実績 2,189 R3実績 1,285 R4実績
10	きしくまち魚津ヶ崎ふれあい交流事業 【岐宿支所】	魚津ヶ崎公園の花の開花期にあわせて自然の地形を活用したグラウンドゴルフ大会を開催し、島外からの参加者を呼び込み、島外者との交流人口を拡大し、地域振興を図る。	大会の参加者200名中50名を島外から呼び込み交流人口を拡大し、更には出店による地場産品の販売を行い、地域の活性化を図る。	R2実績 0 R3実績 0 R4実績
11	魚津ヶ崎公園花いっぱい事業 【岐宿支所】	魚津ヶ崎公園の市有地の花畑を活用し、四季折々の花(菜の花、あじさい、ひまわり、コスモスなど)を育て、市民及び観光による交流の場とする。	魚津ヶ崎花づくり実行委員会との協働により、花の開花時期にあわせ「花まつり」を開催し、各種イベントや出店等により、集客増及び地場産品の消費拡大を図る。	R2実績 1,734 R3実績 2,195 R4実績
12	「奈っじまMAP」データ修正 【奈留支所】	奈留町のオリジナリティーにあふれる「奈っじまMAP」において、前年度中にMAPに記載している内容の変動が頻繁に発生していることから、現状の情報に修正し、奈留島に訪れる観光客の利用に支障なく提供する。	令和3年度版完成 ・日本語版 5,000枚 ・英語版 1,000枚 各観光窓口、各公共施設等に設置し、観光客のニーズに対応する。 ・世界文化遺産登録に伴うインパウンド対策として、昨年度同様英語版の奈っじまMAPも作成する。	R2実績 97 R3実績 104 R4実績
13	前島地区活性化推進事業 【奈留支所】	過疎化の進む二次離島(前島)で、市内外在住の親子を対象に、参加者(親子)には、親子の絆を新たに認識させるとともに、受入実施団体(前島地区町内会)のスキルの向上や島の活性化を図るため、宿泊を伴うツアー等を実施する。	補助対象者である前島町内会は、市が積極的に取り組んでいる民泊体験の受入家庭の登録もあり、前島地区住民の地域活性化に対する機運も高まっている。継続的に前島地区住民主導の観光地域づくりを実施できる体制を構築させるため、ツアーを醸成し前島地区において交流人口を図る。 【R1成果】 ・宿泊ツアー:1組2名の参加 ・日帰りツアー:新型コロナウイルス感染症拡大防止策として事業中止 【R2成果】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度の事業実施を断念し、令和3年度に実施することとした。 【R3成果】 ・令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症が未だに全世界で猛威を振るっており、沈静化するどころかさらに拡大している状況下であるため、令和3年度の事業実施を断念し、令和4年度に実施することとした。	R2実績 0 R3実績 0 R4実績
14	前島海水浴場トイレ洋式化改修工事 【奈留支所】	前島地区における海水浴場のトイレについて、大便器が和式であることから、トイレの利便性を図るために洋式化の改修を行う。	令和3年度に日本ジオパークに認定された「五島列島(下五島エリア)ジオパーク」の重要サイトとして五島市の前島トンボロが選定されたことに伴い、今後前島に島内外からの観光客などの増加が見込まれるため、来島した利用者が安心して利用でき満足した観光に繋がるよう、トイレの洋式化改修工事を実施した。	R2実績 なし R3実績 198 R4実績
15	文化芸術による地域ブランディング事業 【奈留支所】	地域参加型のワークショップを行い「そらあみ-奈留島」の作成活動や展示を行うことで、文化の継承をはじめ、高齢者の生きがいづくりや多世代間の交流に繋げる。	奈留島の島内各地を約2週間かけて巡り、住民や島を訪れた人々など大勢の人の手によって編み上げられた。制作作業は、漁師町である奈留島の文化伝承の場となり、世代を超えた人々が交流する機会となった。 ■ワークショップ開催日数:13日 15か所 ■参加者数 200名(延べ人数)うち島内179名/島外21名 ■展示場所 江上小学校跡地(23日間) ■来場者数 1,199名 ※事業費 996,052円(市負担金1/2)	R2実績 - R3実績 499

16	奈留高校離島留学生支援業務委託【奈留支所】	一般社団法人奈留しまなび舎において、地域おこし協力隊が支援している学生寮事業、学習支援事業、多世代交流事業にかかる必要経費について委託契約を締結し事業を実施。	円滑な寮運営を図り、離島留学生を受け入れ奈留高校及び奈留小中学校を存続させるとともに、島外からの交流人口を増加させる。また、行政と地域が一体となった教育の島づくりを進め、島外者や地域住民らの多世代交流を促進する。	R2実績 - R3実績 2,124
17	奈留島地場産品消費拡大事業【奈留支所】	奈留島地場産品消費拡大事業を通じて、地場産品の消費拡大及び地域活性化を図ることを目的として事業を実施。奈留島マーケット(福江島で奈留島の物産展)やマグロの解体ショー・即売会を行う経費として、産品まつり実行委員会に対し補助金を交付した。	奈留島地場産品消費拡大事業を通じて、地場産品の消費拡大及び地域活性化を図る。 ●奈留島マーケット 開催日:令和3年11月27日・28日(2日間) 参加者:約1600名 売上:1,799,650円 店舗数:10店舗 ●マグロの解体ショー・即売会 開催日:令和3年12月18日(1日間) 参加者:321名 販売個数:マグロ(250g)単価300円 350パック 即売会売上105,000円	R2実績 - R3実績 1,070 R4実績
18	五島日本語学校給付型奨学金事業	五島日本語学校の留学生に対し、奨学金を給付し支援する。 ・毎月分 40,000円/月×留学生数×12月(1人当たり480,000円/年) ・加算分:日本語能力試験認定者20,000円/日本語能力試験のN2及びN1の認定×認定者数	留学生を確保し、円滑な学校運営を支援する。	R2実績 7,680 R3実績 7,920 R4実績

3. 総評

<p>【新たな地域課題解決に向けた取組】 令和3年度中における地域の特性を活かしたまちづくり活動件数は37件であり、各地区まちづくり協議会で課題解決に向けて取り組んでいる。引き続き、自分たちのまちは自分たちで創るという基本理念を基に、五島市とまちづくり協議会が協働、連携して、更なる課題解決に取り組んでいきたい。</p> <p>【地域おこし協力隊の定住率】 地域おこし協力隊については、専門的知識・技術を必要とするミッション型の隊員の任用により、目標と成果が明確化され、各隊員が着実に目標に向けて事業を実施した。令和3年度末のべ地域おこし協力隊退職隊員数24名のうち11名が定住しており、定住率は45.8%となった。</p> <p>【地域課題解消に向けた大学との連携事業数】 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった事業もあり、目標には届かなかった。一方で、新たな連携事業に取り組むこともできた。</p> <p>【五島日本語学校留学生数】 新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、2期生の入学生も目標の50人を下回る27人(前年度比+11人)となったが、令和3年度は、早期入試等に取り組む、3期生の入学生37人を確保した。 なお、2期生は新型コロナ水際対策により入国できず、現地からオンラインで授業を受講した。</p>
--

4. 今後の取組方針

<p>【新たな地域課題解決に向けた取組】 ○市民協働基本方針策定に向けた市職員の意識醸成、PT会議、市民協働会議 ○まちづくり協議会の認知度がまだまだ低いため、活動の意義、目的を広く地域住民に周知し、協力を促していくため、下記3点を重点的に進めていく。 ・地域の機運づくり(定期的な意義目的の説明、情報発信など) ・地域ニーズ把握(市民アンケート、円卓会議、座談会など) ・地区計画書の策定(ニーズ把握を基に、地域がどのようなことを求めているのかを考える)</p> <p>【地域おこし協力隊の定住率】 地域おこし協力隊については、今後も隊員の目標を明確にし、任期終了後の定住を見据えた活動計画を策定するなど、現在の活動と任期終了後の定住について、十分に協議しながら進めていく。</p> <p>【地域課題解消に向けた大学との連携事業数】 令和4年度より、新たに繋がりを持った大学があるので、協力しながら新たな連携事業に取り組んでいきたい。</p> <p>【五島日本語学校留学生数】 九州総合学院、長崎県立大学、五島振興局と連携して学生の確保に努める。 具体的には、入国関係に必要な書類作成の精度の向上を図り、入国審査の合格率の向上を図る。 また、学生を確保するため、引き続き早期入試を実施する。</p>
--

戦略プロジェクト	Ⅲ-1	健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト	所属課	国保健康政策課
重点事業	Ⅲ-1-2	質の高い医療・介護サービスの提供		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
調剤情報システム 市民加入者割合	目標値(%)	38.5	39.0	39.5	40	45	調剤情報共有システム加入者数13,963人(R4.3月末)÷住基人口35,093人(R4.3月末)×100	A
	実績(%)	39.4	39.8					
医師数の人口1 万人対率	目標値(人)	20.3	20.3	20.3	20.3	20.3	長崎県医療統計	A
	実績(人)	21.4	20.7					
看護師数の人口1 万人対率	目標値(人)	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	長崎県医療統計	A
	実績(人)	104.8	100.9					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	長崎県病院企業団運営費負担金(医師給与増経費)	離島での医師確保対策として、過去3か年の全国公立病院の平均給与月額と長崎県病院企業団病院のうち離島地区病院の平均給与月額との差を一応の基準とし、医師数を乗じた額を繰り入れる。 五島中央病院:30.8人 富江病院:3.4人 奈留医療センター:2.0人	医師の給与を一定基準保つことで安定的に医師確保につなげる。	R2実績 29,702
				R3実績 64,504
				R4実績
2	長崎県病院企業団運営費負担金(医療従事者養成経費)	医療従事者養成のため、看護師養成の学校で学ぶ学生に奨学金を貸与する。7名貸与	五島中央病院での看護師確保につなげる。	R2実績 3,689
				R3実績 5,018
				R4実績
3	奨学金返還支援助成金	五島市で就労する35歳未満の方の奨学金の返還費用の一部を助成する。	UIターン者に奨学金返還金について助成することで島外からの医療従事者の確保につなげる。	R2実績 9,789
				R3実績 14,158
				R4実績
4	地域医療情報共有化事業(調剤情報システム活用事業)	市、五島中央病院の救急窓口、消防、調剤薬局でつながる調剤情報システムを運用し、調剤情報を一元化し、服薬指導で医療費削減につなげる。	医療情報を五島市全体で共有し、システム開発、ネットワーク拡大により、疾病予防及び重複投薬防止等につなげる。	R2実績 4,301
				R3実績 4,301
				R4実績

3. 総評

<p>・医療人材確保のため、病院企業団運営費負担金のうち、医師給与増経費、医療従事者養成経費を負担し、医療人材の確保につなげた。</p> <p>また、奨学金返還支援助成金について、移住相談会で案内したり、広報ごとうやSNSで定期的に情報を発信したり、事業者向けに支援制度セミナーを開催したり、地道な広報活動を続けたことにより、制度自体の知名度が上がったため、新規の利用者が増えている。人手不足のなか、働き手確保の一端を担った。</p> <p>・地域医療情報共有化事業(調剤情報共有システム活用事業)については、主に、調剤薬局の窓口や母子保健班の新生児訪問時、転入届出等の際に予防接種の勧奨と併せシステムの加入(同意書取得)を推進した。</p>

4. 今後の取組方針

<p>・今後も地道な広報活動を続け奨学金返還助成金の利用を促すことで、島外からの働き手確保につなげたい。</p> <p>・地域医療情報共有化事業(調剤情報共有システム活用事業)については、引き続き同意取得活動を継続する。(積極的な加入促進のため、調剤薬局の店頭や病院等の窓口において同意取得活動を行う予定であるが、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため中止としているが、感染状況を見ながら活動する予定である。)</p>

戦略プロジェクト	Ⅲ-1	健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト	所属課	長寿介護課、国保健康政策課、スポーツ振興課
重点事業	Ⅲ-1-3	健康で長生きできるしまづくり		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
生活支援サービス創出数	目標値	6	6	6	6	6	①大浜買い物ツアー、②おおはま食堂、③長手買い物ツアー、④増田日常生活支援・買い物等送迎支援、⑤黒蔵移動支援、⑥本山買い物ツアー、⑦富江送迎サービス、⑧玉之浦松下食事会、⑨中須買い物ツアー、⑩三井家交流スペース、⑪白石買い物ツアー、⑫カメリア会、⑬さくまちなかほけんしつ、⑭福江保育園との交流	A
	実績	11	14					
認知症サポーター数	目標値(人)	3,000	3,200	3,400	3,600	3,800	講座22回開催	A
	実績(人)	3,428	3,811					
認知症カフェ設置箇所数	目標値(箇所)	2	3	4	5	6	福江花サロン 玉の浦つばき	C
	実績(箇所)	2	2					
認知症初期集中支援チームの訪問件数	目標値(件)	165	165	165	165	165	実人数96人	A
	実績(件)	222	323					
地域ミニデイの設置件数	目標値(件)	40	40	40	40	40	年度末実数	A
	実績(件)	43	43					
地域ミニデイ住民ボランティア登録者数	目標値(人)	200	200	200	200	200	年度末実数	A
	実績(人)	256	237					
要介護認定率	目標値(%)	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	認定者数2,826人/ 第1号被保険者数 14,553人=19.4%	A
	実績(%)	19.2	19.4					
高齢者緊急通報事業(シルバーホン)利用者数	目標値(人)	30	33	36	38	40	年度末実数	A
	実績(人)	34	34					
重症化予防事業からの医療機関受診率	目標値(%)	38.0	40.0	43.0	47.0	50.0	対象者:314人 受診者:207人 ※R4.6月末現在で確認できた人数	A
	実績(%)	57.0	65.9					
がん検診精検結果の把握率	目標値(%)	93.0	95.0	98.0	100.0	100.0	妻精密者:717人 結果把握数:657人 ※R4.6月末現在で把握できた人数	B
	実績(%)	94.3	91.6					
高齢者対象ニュースポーツ教室等開催数	目標値(回)	7	9	11	12	12	高齢者対象スポーツ教室(出前講座)の開催数	C
	実績(回)	4	7					
シルバー人材センター会員数	目標値(人)	180	200	250	280	300	年度末実数	B
	実績(人)	212	196					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	特定健診の重症化予防事業	市が設定した選定基準に基づき、対象者を抽出し、医療機関受診勧奨と生活改善のための保健指導を行う。	特定健診結果の病院受診レベルの者を医療につなぐことで、生活習慣病の重症化を予防することができ、医療費の抑制につながる。	R2実績 -
				R3実績 -
				R4実績 -
2	がん検診要精密者受診勧奨事業	受診後2~3か月以降に紹介状の返信が無い者に電話、訪問で受診勧奨を行う。指導2~3か月後、未受診の者に対しては再度受診勧奨を行う。	要精密者を確実に受診に繋げる。要精密者ががんであった場合、早期に医療につなぐことで、治療費の削減につながる。	R2実績 -
				R3実績 -
				R4実績 -
3	地域ミニ・デイサービス事業	・高齢者が気軽に楽しく参加できる集いの場の開設 ・住民ボランティアの養成	高齢者が要支援者や要介護状態となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても自立した日常生活を営むことができるよう、自発的、主体的に参加する高齢者の交流の場と生きがいづくりを目指す。	R2実績 4,184
				R3実績 4,473
				R4実績 -
4	認知症総合支援事業	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるための取組を実施する。	認知症への理解を深める認知症サポーターを養成する。介護者のストレスに寄り添う、また認知症の方の不安を軽減する認知症カフェを設置する。	R2実績 784
				R3実績 5,146
				R4実績 -
5	高齢者等労働能力活用事業(シルバー人材センター)	登録会員は受注した樹木剪定、草刈、除草、清掃等の作業やリサイクル物品の回収と販売を実施する。また、生活支援を行うワンコインサービスや空家の総合管理サービスを行う。	高齢者の豊富な技術・経験を生かし就業することで、社会に参加し、社会貢献できる。	R2実績 14,050
				R3実績 13,050
				R4実績 -
6	高齢者対象のスポーツ教室(出前講座:ENJOYスポレク、体力測定会)の開催	職員が老人クラブ、公民館等に出向いて、ニュースポーツの体験教室や体力測定会を行う。	高齢者が運動を通して、健康づくりや介護予防等に取組むとともに、いつまでも地域の中で健康で活躍できる環境づくりを進める。	R2実績 0
				R3実績 0
				R4実績 -
7	高齢者緊急通報事業(シルバーホン)	在宅で一人暮らしの高齢者及び障害者の急病、災害等の緊急時におけるシルバーホンによる協力員への通報体制を整備する。	ひとり暮らしで生活する高齢者が緊急時に協力員に連絡できることで、安心して住み慣れた自宅で暮らし続けることができ、高齢者の福祉の増進に繋がる。	R2実績 228
				R3実績 217
				R4実績 -

3. 総評

【生活支援サービス創出数】

・生活支援サービスの創出は少しずつではあるが、住民の集まり憩いの場を創出できている。

【認知症サポーター数、認知症カフェ設置箇所数、認知症初期集中支援チームの訪問件数】

・認知症サポーター養成講座はコロナウイルス感染拡大の影響で開催回数が増えているが、目標養成数は達成している。
・認知症初期集中支援チームの訪問はコロナ感染拡大においても玄関先で実施する等工夫して訪問したため目標は達成している。
・認知症カフェ設置箇所数について、三井楽地区が1年間活動休止であった為、目標に達成しなかった。

【地域ミニデイの設置件数、地域ミニデイ住民ボランティア登録者数】

・地域ミニ・デイについてはともに目標を達成している。

【要介護認定率】

・介護認定率はミニデイなどの予防事業の効果があつてか、目標値よりよい成績で達成できた。(少ないほど良)

【高齢者緊急通報事業(シルバーホン)利用者数】

・高齢者緊急通報事業については、ひとり暮らしで生活されている高齢者が、緊急時に協力員に連絡できることで、安心して住みなれた自宅で暮らし続けることができ、高齢者の福祉の増進に繋がっている。

【重症化予防事業からの医療機関受診率】

・高血圧、高血糖、腎機能低下、脂質異常の未治療者への医療機関受診勧奨に重点を置き実施した。昨年度より対象者は増加しているが、医療機関受診率は上昇している。服薬治療が開始された人は検査値が改善傾向にある。

【がん検診精検結果の把握率】

・受診後2~3か月以降に紹介状の返信が無い者に電話、訪問で受診勧奨を行い、指導2~3か月後、未受診の者に対しては再度受診勧奨を行ったが、「受診しようと思っているが、忙しい」「他の疾患の治療中で落ち着くまで検査できない」など、受診に消極的な反応がほとんどだった。

【高齢者対象ニュースポーツ教室等開催数】

・高齢者対象のスポーツ教室等の開催数は前年度から増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により出前講座の受付中止やキャンセルがあり、目標を達成することができなかった。高齢者の健康寿命の延伸や介護予防等のためには、今後も高齢者向けのスポーツ教室の開催数を増やす必要がある。

【シルバー人材センター会員数】

・シルバー人材センターの会員確保については、毎月2回の定期入会説明会を開催、また、女性部会等を中心に各地区産業祭等にてチラシや粗品の配布を行ったが目標達成に届かなかった。

4. 今後の取組方針

【生活支援サービス創出数】

・生活支援サービスについては、各地に住民の憩いの場を創出できるように取り組む。

【認知症サポーター数、認知症カフェ設置箇所数、認知症初期集中支援チームの訪問件数】

・認知症サポーター養成講座を五島市見守りネットワーク連絡会宛に周知実施していく。
・認知症カフェの継続運営、新規増設について今後も取り組む。
・認知症初期集中支援チームの訪問を行い、医療・介護につながるよう支援していく。

【地域ミニデイの設置件数、地域ミニデイ住民ボランティア登録者数】

・地域ミニ・デイボランティアが高齢化しているため、人材確保に努めていく。

【要介護認定率】

・要介護認定率を今後も各種予防施策により成績の良い達成を目指したい。

【高齢者緊急通報事業(シルバーホン)利用者数】

・高齢者緊急通報事業は、在宅で生活される高齢者が緊急時に協力員に連絡できること、安心して住みなれた自宅で暮らし続けることができるため今後も取り組んでいく。

【重症化予防事業からの医療機関受診率】

・継続した受診勧奨を実施し、未治療者を治療へつなげることにより重症化を予防していく。

【がん検診精検結果の把握率】

・受診勧奨時に精密検査の必要性を丁寧に周知する。
・個別がん検診実施医療機関に要精密になったら必ず受診するよう促す説明資料の配布について協力を求める。

【高齢者対象ニュースポーツ教室等開催数】

・老人クラブ連合会、地域ミニデイ等の会議に出向いて出前講座の宣伝を行い、開催件数を増やしていく。また、スポーツ器具を貸出し、講座受講後にも継続して運動に取り組んでもらう。
・スポーツ教室の開催に加えて、五島市健幸アプリ「ぎばっと!」を活用して、高齢者にウォーキングなどの運動に継続して取り組んでもらい、健康寿命の延伸や介護予防につなげる。

【シルバー人材センター会員数】

・シルバー人材センターの新規会員加入促進に向け、継続してPRに努めていく。

戦略プロジェクト	Ⅲ-1	健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト	所属課	社会福祉課
重点事業	Ⅲ-1-4	健康で長生きできるしまづくり		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
地域生活支援拠点等の整備	目標値(箇所)	1	1	1	1	1	R2年度末に整備済	A
	実績(箇所)	1	1					
相談支援対応件数(基幹相談支援事業所)	目標値(件)	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	相談支援事業実績報告書	C
	実績(件)	1,401	1,295					
相談支援対応件数(障害者就業・生活支援センター)	目標値(件)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	センター事業実績報告書	C
	実績(件)	1,403	1,267					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	地域生活支援拠点等の整備	障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、障害者等の地域移行を進めるため、重度障害にも対応することができる専門性を有し、地域生活で生じる障害者等への緊急事態に対応を図る。	障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することで、住み慣れた地域で安心して生活することができる。	R2実績 0
				R3実績 1
				R4実績
2	障害者就業・生活支援センター運営費補助	障がい者の「就業面」と「生活面」を一体的に支援し、就職の促進と職場定着を図る。	障がい者の一般就労に関して有効的であり、市内における障がい者の一般就労への移行を推進する。	R2実績 540
				R3実績 540
				R4実績
3	障害者相談支援事業	地域移行支援や地域定着支援による常時の連絡体制や緊急事態等の相談支援、親元からの自立や地域での暮らし等、障がい者やその家族からの相談に応じる。	障がい者等の相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができる。	R2実績 11,900
				R3実績 11,900
				R4実績
4	地域活動支援センター事業	障がい者に創作的活動・生産活動の機会を提供することにより、社会との交流を促進し、自立した生活を支援する。	障がい者の日中の居場所づくりや生きがいつくり、日常生活での困りごとを相談できる機会の提供などを行うとともに、地域社会との交流を促進する。	R2実績 12,900
				R3実績 12,900
				R4実績

3. 総評

相談支援対応件数については、約100件の減少となっているが、主な要因は「不安解消・情緒安定に関する傾聴・助言」の減少(209件→141件)であり、相談支援体制が充実し、助けを求めやすい環境が整ってきた」と捉えられる。
一方で、権利擁護・虐待関連の相談が増加(3件→13件)しているため、引き続き適切な支援助言を行っていく必要がある。

4. 今後の取組方針

相談窓口の周知に努めるとともに、障がいのある方が安心して生活できるようサービス提供体制を整える。

戦略プロジェクト	Ⅲ-2	インフラ整備プロジェクト	所属課	商工雇用政策課
重点事業	Ⅲ-2-1	公共交通機関の維持・活性化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
航路利用者数(基幹航路)	目標値(人)	589,589	603,911	613,549	620,130	620,600	事業者からの報告	C
	実績(人)	270,896	304,713					
航路利用者数(二次離島航路)	目標値(人)	213,716	214,282	214,133	213,506	212,000	事業者からの報告	C
	実績(人)	168,255	162,153					
空路利用者数	目標値(人)	168,829	173,399	176,554	178,764	179,100	事業者からの報告	C
	実績(人)	71,812	97,287					
陸上交通機関(路線バス、乗合タクシー)利用者数	目標値(人)	374,942	369,866	364,789	359,713	354,700	実績報告書	C
	実績(人)	349,884	321,899					
高齢者フリーパスの利用者数	目標値(人)	200	225	250	275	300	五島自動車提供	C
	実績(人)	189	195					
路線・航路等検索サービス構築事業数(累計)	目標値(件)	3	5	7	9	11	検索サービス確認	A
	実績(件)	11	11					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	国境離島運賃低廉化負担金	島民を対象に、航路・航空路を利用する際、新幹線やJR在来線並みの料金で利用できるようにする。	航路・航空路の運賃低廉化を実施することで、離島生活における経済的負担の軽減を図る。	R2実績 45,786
				R3実績 68,122
				R4実績
2	五島市バス路線維持費補助金	バス路線の維持確保を図り、地域住民の日常生活における利便性の向上のため、路線バス運行事業者に対して補助金を交付する。	住民の通勤、通学、通院及び買い物などの日常生活における利便性の確保・向上を図るためにバス運行を維持する。	R2実績 109,747
				R3実績 107,649
				R4実績
3	新生活交通維持事業補助金(富江・三井楽・岐宿・奈留・久賀・奥浦)	経済的で利用者の利便性に配慮した生活交通路線として確立するため、乗合タクシー事業者に対して補助金を交付する。	各地区において、乗合タクシーを運行して移動制約者の交通手段を確保する。	R2実績 12,240
				R3実績 9,099
				R4実績
4	福江商店街巡回バス事業費補助金	福江地区において、路線バスが運行されていない地区を中心に運行する巡回バス運行事業者に対して補助金を交付する。	買い物や通院等の交通手段として利用できる巡回バスを運行し、利便性の向上及び商店街の活性化を図る。	R2実績 4,697
				R3実績 1,342
				R4実績
5	デマンド型乗合タクシー運行費負担金	AIを搭載した運行管理システムを導入し、電話予約制乗合タクシー運行を実施する。	公共交通機関を必要とする地域住民の買い物や通院等の交通手段を確保する。	R2実績 3,042
				R3実績 27,042
				R4実績

3. 総評

【航路・航空路】

新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった令和2年度からは利用者の数が増加したものの、影響前の令和元年度に比して、6割程度となっている。引き続き交通機関の安全性をPRするなど利用者増に向けて取り組んでいく。

【陸上交通】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が前年より8%減少した。路線バス及び乗合タクシーの利便性の向上と効率的な運行を目指し、富江地区で実証運行を実施した電話予約制乗合タクシー「チョイソコごと」を福江・岐宿地区にも導入し、利用者の利便性向上を図った。

4. 今後の取組方針

【航路・航空路】

令和4年度からオリエンタルエアブリッジの機材更新が始まるため、ソフト事業に対して補助を実施する。また、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少した事業者に対し、安定して継続した運航ができるよう状況に応じて補助を実施する。

【陸上交通】

福江・富江・岐宿地区に導入した電話予約制乗合タクシー「チョイソコごと」と路線バスの融合によるバス路線の効率化(再編)を目指し、関係機関及び関係部署との組織横断的な連携のもと地域公共交通のあり方について調査・検討を行う。

戦略プロジェクト	Ⅲ-2	インフラ整備プロジェクト	所属課	建設課、生活環境課、消防本部
重点事業	Ⅲ-2-2	社会生活基盤の整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
公共土木施設維持保全対応率	目標値(%)	71.0	73.0	75.0	78.0	80.0	535/731件 (処理件数/受付件数)	A
	実績(%)	71.1	73.2					
橋りょうの補修実施件数(橋りょう修繕計画)(累計)	目標値(件)	40	45	50	55	55	橋梁長寿命化修繕計画における修繕計画と修繕実績	A
	実績(件)	40	53					
汚水処理人口普及率	目標値(%)	45.4	47.6	49.9	52.3	54.7	(漁業集落排水接続人口 46人 + 浄化槽接続人口 16,293人) ÷ 区域内人口 35,093人	B
	実績(%)	44.7	46.6					
消防職員による防火・救急等に関する相談のための訪問件数	目標値(件)	300	300	300	300	300	実施した訪問件数による	C
	実績(件)	283	183					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	公共土木施設維持保全事業	社会生活の基盤である市道、河川、排水路を、市民の陳情、要望に沿った維持管理を行う。	地域住民の安全で快適な生活環境を整え、市民生活の満足度の向上を図る。	R2実績 123,495
				R3実績 127,196
				R4実績
2	橋りょう維持補修事業	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、定期的な点検及び補修を実施する。	橋りょうの長寿命化並びに修繕・架替えに係わる費用の縮減を図る。	R2実績 24,133
				R3実績 98,850
				R4実績
3	浄化槽設置整備事業	住宅及び事業所に設置する50人槽以下の浄化槽設置者に補助する。(人槽に応じた補助基準額を設定)	生活排水としての下水道事業の着手が困難な状況にあるため、経済的で早期整備が可能な個人設置が可能な個人設置型合併浄化槽の普及促進を図る。	R2実績 178,052
				R3実績 161,072
				R4実績
4	高齢者世帯等住宅消防訪問	高齢者、身体障がい者等の世帯を中心に訪問し、住宅防火や救急に関する相談、緊急時の避難場所の確認などを行う。	住宅防火に関する指導や救急に関する相談、体調管理の指導により火災予防、体調管理の意識を向上させ、不安を軽減する。 また、消防が個別に住宅を訪問することで見守りの役割を果たす。	R2実績 0
				R3実績 0
				R4実績

3. 総評

<p>【公共土木施設維持保全対応率、橋りょうの補修実施件数】 陳情、要望等の受付件数が想定よりも多かったが(計画480件、3年度528件)、早急な現地調査や事前準備、施工時の創意工夫により、535件(計画500件)を処理対応し目標を達成した。 橋梁の点検結果に基づき13橋を修繕し、目標を大幅に上回った。</p> <p>【汚水処理人口普及率】 年間272基の合併浄化槽設置実績であったが、設置基数は年々減少傾向にある。</p> <p>【消防職員による防火・救急等に関する相談のための訪問件数】 新型コロナウイルス感染症の影響が令和2年度より大きく、また、他の緊急的な調査業務等があり訪問できない期間があったため、例年のように訪問することが難しい状況であった。</p>
--

4. 今後の取組方針

<p>【公共土木施設維持保全対応率、橋りょうの補修実施件数】 年度により陳情件数は相違するが、計画実績率を目標とし過年度分の陳情件数も減じ、令和6年度には対応済を80%とする。 令和5年度までの補修橋梁は55橋の計画であるが、第2期計画策定以降の橋梁点検の結果、補修橋梁を73橋として補修を図る。(R3年度:13橋、4年度:19橋、5年度:1橋)</p> <p>【汚水処理人口普及率】 事業所については、浄化槽が大きくなり設置費用が高額となってくる。自己負担軽減のため、51人槽以上も補助の対象とし、50人槽以下についても人槽ごとの補助基準額を見直し、浄化槽の普及を図っていく。</p> <p>【消防職員による防火・救急等に関する相談のための訪問件数】 新型コロナウイルス感染症について、収まってはいるがその中で1件でも多くの消防訪問を実施するため、感染防止に努め、他の業務と両立しながら効率的に実施し、火災予防の意識の高揚や高齢者等の適切な体調管理の指導を行っていく。</p>
--

基本目標	IV	五島の宝・子どもが育ち、輝く“しま”をつくる	所属課	こども未来課 (~R3社会福祉課)
------	----	------------------------	-----	----------------------

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
合計特殊出生率	目標値	1.88	1.91	1.93	1.95	1.97	長崎県衛生統計年報	未確定
	実績	2.16	-					
出生数	目標値(人)	195	195	195	195	195	人口統計	A
	実績(人)	189	195					
子育て支援満足度	目標値(%)	55.8	57.8	59.8	61.8	63.8	市民アンケート	B
	実績(%)	54.3	55.1					
教育環境満足度	目標値(%)	59.3	62.3	65.3	68.3	71.3	市民アンケート	B
	実績(%)	56.2	56.2					

2. 総評

【出生数】

目標値には届いたものの、まだまだ少ない状況が続いていることから、引き続き、出会い・結婚・出産支援を継続していきたい。

【子育て支援満足度、環境満足度】

市民アンケートの結果、いずれも昨年度の数値を下回ることはなかったものの目標値を下回った。

3. 今後の取組方針

【出生数】

- 出会い・結婚支援の取組
 - ・五島市めぐりあい事業(婚活イベント)
 - ・結婚支援センターによる相談
 - ・結婚新生活支援事業(新婚さんの家賃等補助)
- 出産支援の取組
 - ・特定、一般不妊治療助成

【子育て支援満足度、環境満足度】

満足度が得られるような各種施策に取り組んでいく。

戦略プロジェクト	IV-1	結婚・出産・子育て支援プロジェクト	所属課	こども未来課 (~R3社会福祉課)
重点事業	IV-1-1	出会い・結婚支援		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
婚活イベント参加者数	目標値(人)	40	90	150	220	260	オンライン婚活3回39人、リアル婚活1回16人、合計55人	C
	実績(人)	0	55					
イベント等によるカップリング数	目標値(組)	3	6	10	15	20	オンライン婚活3回5組、リアル婚活1回5組、合計10組	A
	実績(組)	0	10					
婚活支援団体数(累計)	目標値(団体)	3	3	3	4	4	岐宿コッパ会	C
	実績(団体)	1	1					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	めぐりあい交流促進事業	婚活イベントを実施し、独身男女の出会いを創出する。	出会いを創出することで成婚及び出生数の増加につなげていきたい。	R2実績 0
				R3実績 4,928
				R4実績
2				R2実績
				R3実績
				R4実績
3				R2実績
				R3実績
				R4実績
4				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

五島市めぐりあい事業については、令和2年度はコロナ感染拡大により中止を余儀なくされたが、令和3年度はほぼ予定通り実施することができた。

事業は民間メディアに委託し、オンライン婚活を3回、リアル婚活を1回実施し、あわせて参加者55名、カップリング10組であった。また、カップリング成立のうち2組が3月と5月にそれぞれ結婚に至った。

4. 今後の取組方針

令和3年度の婚活で2組の結婚に至ったことから、令和4年度も引き続き、事業を実施する。
令和4年度は、オンライン婚活を4回、リアル婚活を2回実施する予定で委託業者と調整している。

戦略プロジェクト	IV-1	結婚・出産・子育て支援プロジェクト	所属課	こども未来課 (~R3社会福祉課、 国保健康政策課) 教育総務課 (~R3生涯学習課)
重点事業	IV-1-2	出産・子育て支援		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
保育所・認定こども園待機児童数	目標値(人)	0	0	0	0	0	保育所等入所調べ(五島市)	A
	実績(人)	0	0					
乳児家庭全戸訪問事業の訪問率	目標値(%)	100	100	100	100	100	対象数:183件 訪問件数:183件	A
	実績(%)	100	100					
子育て支援員数(累計)	目標値(人)	23	26	29	31	33	放課後児童支援員配置状況調査(長崎県こども未来課調べ)	A
	実績(人)	33	35					
家庭教育学級等の参加者数	目標値(人)	1000	1000	1000	1000	1000	総受講者数	C
	実績(人)	404	299					
放課後児童クラブのクラス数	目標値(クラス)	13	13	13	13	13	放課後児童健全育成事業補助金交付決定一覧表	A
	実績(クラス)	14	13					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	放課後児童健全育成事業費	社会福祉法人等が運営する放課後児童クラブの運営費等を支援する。	運営費を支援することで、継続した運営を行うことができるようになり、小学生の放課後待機児童を解消することができる。	R2実績 96,410
				R3実績 89,488
				R4実績
2	乳児家庭全戸訪問事業	開業助産師に児童福祉法に基づく乳児家庭全戸訪問事業を委託し、月に一度、訪問結果の報告を受け、継続支援の必要性についてケース検討会を実施する。	乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。	R2実績 970
				R3実績 920
				R4実績
3	家庭教育学級事業	家庭教育の専門的知識を持った講師を派遣し、家庭教育力向上につなげる。(親が主体となり年間を通して学習)	保育園や学校等を拠点とし、その保護者を対象に家庭教育について学ぶ機会を提供。	R2実績 96
				R3実績 14
				R4実績
4	子育て出前講座事業	家庭教育の専門的知識を持った講師を派遣し、家庭教育力向上につなげる。(単発で実施)	保育園や学校等を拠点とし、その保護者を対象に家庭教育について学ぶ機会を提供。	R2実績 49
				R3実績 25
				R4実績

3. 総評

【保育所・認定こども園待機児童数、子育て支援員数、放課後児童クラブのクラス数】

待機児童数については、ゼロを継続している。児童クラブについても、クラス数及び子育て支援員数の目標を達成できている。

【乳児家庭全戸訪問事業】

開業助産師に委託し、産後うつ等の特有な症状が出現する産後早期に家庭訪問を実施。乳児及び産婦の健康状態や養育環境、支援者の有無等の把握を行った。産後、最も不安になる授乳方法や赤ちゃんのお世話、産婦自身の体調の変化について、適切な助言をし育児不安の軽減を図った。訪問後は関係スタッフ(委託助産師、保健師、管理栄養士)で全ケースの報告と今後の支援について検討。継続支援が必要なケースについては保健師や管理栄養士、医療機関等関係機関へ繋げている。

【家庭教育学級等の参加者数】

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から講座回数の減に伴い参加人数も減少した。

4. 今後の取組方針

【保育所・認定こども園待機児童数、子育て支援員数、放課後児童クラブのクラス数】

待機児童数については、ゼロを継続しているので、今後も受け皿の確保に努めていく。児童クラブについても、クラス数及び子育て支援員数を確保していく。

【乳児家庭全戸訪問事業】

現状通り開業助産師へ委託し実施する。関係スタッフによる訪問ケース報告、支援検討会も継続実施。R3.4月から子育て世代包括支援センターネウボラGOTOの開設により、全妊婦に対して支援プランを作成。本事業についても早期の訪問が必要なケースや対象者の希望が把握できるため、妊娠期から出産、子育て期まで、切れ目ない支援を行うように努める。

【家庭教育学級等の参加者数】

引き続き、幼稚園、保育園、小中学校、PTA、各種団体と連携しながら、保護者を対象とした家庭教育学級・子育て出前講座の開設を推進し、家庭教育に関する学習活動の支援に努める。また、長崎県が実施している家庭教育支援事業「ながさきファミリープログラム」のファシリテーターや、「早寝・早起き・朝ごはん」など生活習慣にかかる家庭教育アドバイザー、スマートフォンやインターネット等の安心・安全な使用について指導するメディア安全指導員の活用を推進し、家庭教育学級や子育て出前講座の中で講師を派遣するなどして学習内容の充実にも努める。

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	学校教育課
重点事業	IV-2-1	グローバル人材育成		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
だれかに英語で話しかけてみたことがあるか(市内全小学6年生対象意識調査)	目標値(%)	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	英検ジュニア意識調査	B
	実績(%)	48.0	49.0					
CEFR(外国語のコミュニケーション能力指標)のA1レベル以上の生徒数率	目標値(%)	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	GTEC	A
	実績(%)	60.4	55.7					
イングリッシュキャンプ参加後の意識調査(英語学習へのさらなる意欲が高まったか等)	目標値(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	イングリッシュキャンプ参加者アンケート	A
	実績(%)	0	100.0					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	市単独外国語職員(ALT指導員)の雇用事業	英語教育の補助として市内の学校に6名のALTを雇用しており、そのALTのとりまとめとして、市単独で1名指導員を雇用。	ALTの学校での指導方法や教材等を統一し、市内全校で一貫した英語教育の充実強化を図る。また、ALTの生活全般の指導を行う。	R2実績 4,761
				R3実績 4,700
				R4実績
2	「プロジェクトG」小学校からの英語習得事業	通常小学3年生からの外国語教育を国の特例制度を利用して、小学1年生から早期英語教育を行う。	指導力向上を目指した研修会やジュニアイングリッシュキャンプを開催したり、英検ジュニアの受験を実施したりすることで、英語力やコミュニケーション力の向上を図っている。	R2実績 8,895
				R3実績 9,104
				R4実績
3	語学指導等を行う外国人青年誘致事業	外国語指導助手として、小中学校の英語の授業を行い、外国語や異文化にふれる機会をつくる。	五島市は、外国語や異文化に触れる機会がほとんど無い環境にあるが、ALTの来校によって、英語への興味関心を高めている。	R2実績 22,471
				R3実績 28,568
				R4実績
4	イングリッシュキャンプ	市内の中学生を対象に募集し、3泊4日間の英語漬けの生活を体験する。	ALTと英語を使った活動や異文化交流を行うことで、英語への興味関心を高める。	R2実績 0
				R3実績 114
				R4実績

3. 総評

小学校からの早期英語教育の成果が大きく表れ、中1のGTEC、小6の英検Jrともに全国平均を突破した。特にGTECでは全国平均をプラス6.8ポイント上回り、昨年の弱点であったリスニング力が伸びた。ALTが作成したオリジナル教材の効果が出たものと思われる。イングリッシュキャンプはコロナに十分気をつけ、ALT達が様々な活動を仕組んだことで、アンケートで参加者全員、更に英語力を向上したいと回答し、達成感を得ることができていた。

4. 今後の取組方針

「誰かに英語で話しかけてみたことがあるか」という質問には、遠隔授業を拡充させることで海外との交流を促す。アメリカ人以外のALTも増えてきたので、異文化理解を充実させることで更に英語を使ってみたいという思いを高めたい。

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	学校教育課 教育総務課 (～R3教委総務課)
重点事業	IV-2-2	郷土愛を育み学びの質を高めるための環境整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
ふるさと活性化貢献支援事業 指定校数	目標値(校)	6	6	7	7	8	ふるさと活性化貢献支援事業能申込学校数	C
	実績(校)	5	5					
不登校児童生徒の割合	目標値(%)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	R3不登校傾向児童生徒数(3月)□	C
	実績(%)	1.9	2.1					
全国学力調査の国語における五島市と全国の正答率の比較	目標値	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	全国学力学習状況調査	C
	実績	0	94.0					
教員一人当たりのICT機器活用頻度	目標値(回/週)	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	学校における教育の情報化の実態に関する五島市独自の調査	B
	実績(回/週)	8.0	8.5					
全国学力調査の算数・数学科における五島市と全国の正答率の比較	目標値	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	全国学力学習状況調査	B
	実績	0	98.0					
長寿命化計画に基づき改修工事を実施した学校数(累計)	目標値(校)	3	5	9	12	16	R3富江小学校	C
	実績(校)	1	2					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	ふるさと活性化貢献支援事業	ふるさと学習の充実に係る補助をする。	五島市の未来を担う中・高校生に、少子化・人口減少等市の抱える問題を捉えさせ、その解決に向けた学習活動の創造を支援していくことで、ふるさと五島の活性化に貢献できる人材の育成を図るとともに、将来地元で生活しようとする気持ちや、五島を離れてもふるさとを思う心情を育てる。	R2実績 502
				R3実績 412
				R4実績
2	教育支援教室事業	学校復帰や社会的自立に向けた支援を行う。	不登校や発達障害等の特別に配慮を要する児童生徒に対し、学校や家庭、関係機関との連携を図り、特性に応じた適切な支援を行い、五島の宝である子どもにも確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。	R2実績 7,001
				R3実績 4,961
				R4実績
3	ICT教育強化事業	ICT教育の強化を図る。	ICT教育の環境を継続的に整備し、ICT支援員等の支援を受け、各学校のICT教育を推進することにより、児童生徒の学力向上を図る。	R2実績 3,248
				R3実績 6,494
				R4実績
4	小学校校舎改修事業	老朽化が進んだ校舎の屋上、外壁を改修する。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活できる環境を整える。	R2実績 49,866
				R3実績 118,104
				R4実績
5	中学校校舎改修事業	老朽化が進んだ校舎の屋上、外壁を改修する。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活できる環境を整える。	R2実績 0
				R3実績 0
				R4実績
6	緑丘小学校改築事業	駐車場、体育倉庫、運動場等の整備及び仮設通路の撤去を行う。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活できる環境を整える。	R2実績 199,676
				R3実績 0
				R4実績
7	本山小学校体育館・横断歩道橋新築事業	県道富江・富江線の拡幅工事に伴い本山小学校体育館と歩道橋を新築する。	体育館を使用する生徒や教職員等が、安全・安心に施設を使用することができる。また、建て替え後は市の避難所指定も想定されることから、防災拠点としての活用も見込まれる。	R2実績 41,648
				R3実績 65,880
				R4実績

8	小学校営繕事業	各学校へ要望調査を実施し、予算の範囲内で必要な箇所を選定後、営繕を実施する。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活できる環境を整える。	R2実績	26,470
				R3実績	22,536
				R4実績	
9	小学校体育館照明器具取替事業	体育館の照明に使用している水銀灯が2021年から生産中止になるため、LED照明に切り替えるとともに落下防止対策が取られていない箇所を解消する工事を行う。	早期に照明器具を取り替えることで在庫不足による不測の事態を回避できる。また落下防止対策を施し児童、教職員等の安全を確保する。	R2実績	13,178
				R3実績	18,029
				R4実績	
10	中学校営繕事業	各学校へ要望調査を実施し、予算の範囲内で必要な箇所を選定後、営繕を実施する。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活ができる環境を整える。	R2実績	19,186
				R3実績	32,090
				R4実績	
11	中学校体育館照明器具取替事業	体育館の照明に使用している水銀灯が2021年から生産中止になるため、LED照明に切り替えるとともに落下防止対策が取られていない箇所を解消する工事を行う。	早期に照明器具を取り替えることで在庫不足による不測の事態を回避できる。また落下防止対策を施し生徒、教職員等の安全を確保する。	R2実績	12,761
				R3実績	34,642
				R4実績	
12	教職員住宅営繕事業	各学校へ要望調査を実施し、必要な箇所を選定後、営繕を実施する。	施設の長寿命化を図りながら、教職員に快適かつ安心して生活できる住環境を整えることで、教育意欲の向上に繋げる。	R2実績	5,387
				R3実績	6,127
				R4実績	

3. 総評

【ふるさと活性化貢献支援事業】

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により企業訪問や体験学習に制限があったが、地元活性化の課題の発見や考察を行った。また、様々な全国のコンクールへエントリーし、受賞するなど、活動全体が有意義なものであることが認められている。卒業生の一部には、五島市の未来について、その考えを自ら発信するなど、地域貢献への意欲を高めた姿が見られる。

(参加校及び参加人数)

五島高校242名、五島南高校86名、奈留高校35名、福江中学校425名、崎山中学校27名（合計5校815名）

【不登校対策】

教育支援教室は、令和3年度は8名の利用者があり、学校との連携を図りながら、きめ細やかな指導を行うことができた。アウトリーチによる支援も保護者、生徒、学校と連携して継続的に行ったことで、生徒と学校との精神的な距離を縮める効果が見られた。卒業した4名の生徒は、希望する高校への入学を果たし勉学に励んでいる。また、令和3年度利用していた生徒のうち2名は、4月からの学校に通常登校につながった。

【ICT教育強化事業】

ICT教育支援員が計画的に市内21校を訪問し、授業におけるICT機器活用のサポートを継続的に行うことができていた。これに伴って教育現場におけるICT活用頻度が高まっていることは成果である。また、計画通りに年間7回の教育ICT推進研修会を実施し、教育現場のニーズに沿ったテーマで研修を行うことができた。

【長寿命化計画】

令和3年度に於ける校舎改修工事は富江小学校の1件のみであった。数値目標には複数の校舎の改修を掲げているものの、財政的な問題もあり1件の改修に留まっている。

4. 今後の取組方針

【ふるさと活性化貢献支援事業】

対象校を小学校に広げ、ふるさと学習を充実させるとともに地域貢献への意欲を高める一助とする。各学校の実践例を共有することにより、五島市全体で地域貢献への意欲を高めていく。

【不登校対策】

- ・校長会、教頭会、生活主任生徒指導主事研修会等を通じて教育支援教室の活用について更なる周知を図る。
- ・学校への復帰だけでなく、社会的自立に向けて支援を行っていく。
- ・今年度も訪問支援を行い、通室等が難しい児童生徒への支援を行う。
- ・GIGA端末を活用し、利用している児童生徒の個別最適な学びを促進するとともに、WEB会議システムの利用を学校と児童生徒との連携を縮めるための一助とする。

【ICT教育強化事業】

- ・継続して五島市教育ICT推進研修会を実施することにより、教員のICT活用能力の更なる向上を図る。
- ・GIGA端末の活用を推進することにより、五島市が目指す国際社会で活躍する人間の育成を図る。

【長寿命化計画】

改修工事に係る財源を確保し、計画に基づいた工事実施に努める。

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	学校教育課
重点事業	IV-2-3	しま留学制度の推進		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
しま留学受入人数	目標値(人)	15	15	15	15	15	五島市しま留学生受入事業実績報告書	A
	実績(人)	20	21					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	しま留学受入事業	島内外の子どもの交流による人材育成	留学生を受け入れることにより、地域活性化の核である学校の存続を図る。また、受入校の児童生徒の固定化された人間関係を打破し、望ましい社会性の育成に寄与する。さらに、留学生を受け入れるしま親への委託料が発生することにより経済的効果が見込まれる。	R2実績 11,283
				R3実績 12,641
				R4実績
2				R2実績
				R3実績
				R4実績
3				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

・島に子どもたちがいることで、島の活性化に関して一定の効果はある。家族留学も奈留2家族、久賀2家族が地域の一員として活動したが、久賀の1家族は途中での解除となった。
 ・リモート面談を基にした受入れ可否の判断を行ったメンバーだったが、昨年度から継続の留学生も多かったことから、大きな問題もなく、島での生活になじんでいった留学生が多かった。
 ・R3年度に中学校を卒業した地元の生徒からは、共に学んだ留学生に対する感謝の言葉が見られた。

4. 今後の取組方針

・しま留学連絡協議会の運営の在り方、組織の役割分担の具現化が必要である。(しま親・学校・市教委事務局、支所等の業務分担と系統性をもった組織図の作成)
 ・五島南高校、奈留高校の離島留学制度との連携を図る。特に中3と高1のつながりを密に行っていく。
 ・新たなしま親やコーディネーターの開拓を行う。

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	教育総務課 (~R3生涯学習課) 学校教育課
重点事業	IV-2-4	読書に親しむ環境づくり		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
図書貸出冊数(図書館・公民館)	目標値(冊)	170,000	170,000	200,000	210,000	216,000	貸出冊数	C
	実績(冊)	127,321	136,342					
学校図書館支援員の学校訪問回数	目標値(回)	180	180	180	180	144	図書支援員配置計画	B
	実績(回)	178	169					
学校図書館児童1人当たりの月平均貸出冊数(小学生)	目標値(冊/月)	11	12	13	14	15	市月間読書量調査	A
	実績(冊/月)	11.6	12.8					
学校図書館生徒1人当たりの月平均貸出冊数(中学生)	目標値(冊/月)	2	2.5	3	4	5	市月間読書量調査	C
	実績(冊/月)	1.6	1.6					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	生きる力づくり読書推進事業	学校図書館支援員を適正に配置し、読書による様々な出会いや郷土愛を育む書物に多く触れる機会を提供する。	学校図書館支援員が学校図書館の整備や企画・運営を支援することで、読書に親しめる環境を整える。	R2実績 5,353
				R3実績 7,424
				R4実績
2	図書館管理運営事業	市内全域で図書館サービスの充実を図り、本館を中心に周辺地域には移動図書館車を活用し、利用者・貸出冊数の増加を目指す。	市民の多種多様なニーズに応じた図書資料の収集・提供に努め、学校・公民館等と連携し、読書活動の推進を図る。	R2実績 20,627
				R3実績 20,262
				R4実績
3	公民館図書室連携事業	奈留地区公民館図書室へ図書館の資料を配置し、奈留支所地域での図書館同様のサービスを目指す。	奈留支所地域での来館に不便を来す利用者へのサービスの拡充を図る。	R2実績 1,045
				R3実績 1,066
				R4実績
4				R2実績
				R3実績
				R4実績
5				R2実績
				R3実績
				R4実績

3. 総評

【図書貸し出し冊数】

前年度貸出冊数より増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、コロナ発生以前の冊数には及ばない。

【学校図書館】

令和3年度は、コロナの影響で家にいることが多くなり、学校図書館外も含めた読書冊数は大きく伸びた年であった。図書支援員による環境整備や読書記録カードの配付などの工夫も効果的であった。中学生はどうしても自分の好きなライトノベルを購入して読む傾向があるため、教育的効果とともに、生徒の嗜好も考慮し選書していくよう促す。図書支援員の派遣は、コロナで中止した数を含めれば前年度を上回る。

4. 今後の取組方針

【図書貸し出し冊数】

イベントや特集展示などの工夫・充実に努めたい。なお、今年度は新図書館開館準備のための半年程度の期間を休館する見込み。

【学校図書館】

新たな図書支援員が入られたので、仕事内容を4人で共有しながら業務を進めていけるよう、支援員会議を年1回から学期毎に増やす。特に目標に届いていない中学生の読書冊数をどのように伸ばすか、今後とも対策を練りたい。

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	教育総務課 (~R3教委総務課)
重点事業	IV-2-5	高等学校の魅力化の推進		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
下宿先受入可能人数	目標値(人)	60	60	60	60	60	実受入先確保件数	A
	実績(人)	65	60					

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R2総事業費
				R3総事業費
				R4総事業費
1	五島南高校、奈留高校 離島留学制度	五島南高校では市内外から不登校生徒を受け入れる。 奈留高校では市外から英語を学びたいと思う生徒を受け入れる。	県:高等学校で学ぶ機会を確保し、 教育水準の維持を図る。 市:地元高校の存続・発展を図る。	R2実績 21,200
2				R3実績 23,250
3				R4実績
4				R2実績
5				R3実績
				R4実績

3. 総評

目標値は達成しているが、男女別の受入に対応するには不足があるため、引き続き支所と連携してホームステイ先を確保する必要がある。新規の里親登録がある一方で、受入辞退を申し出る里親も出てきている。

4. 今後の取組方針

「五島市高等学校離島留学生ホームステイ費補助金」、「五島市内留学生受入環境整備事業費補助金」を活用し、ホームステイ先を確保していく。
また、奈留高校においては、「英語教育推進のため海外語学研修費補助金」により魅力化を推進していく。